

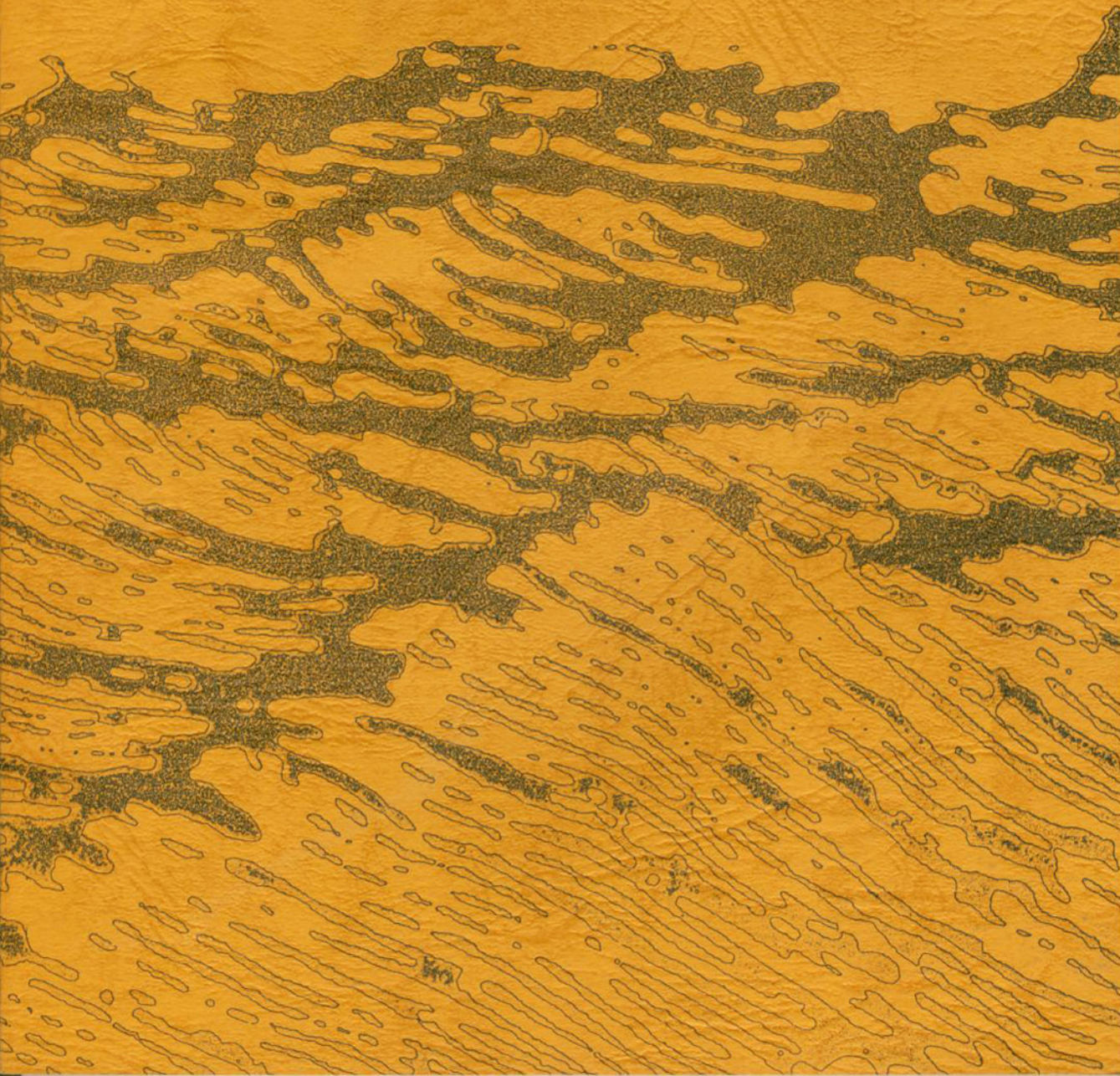
星野組の75年

株式会社設立20周年記念

HOSHINO

株式
会社

星野組

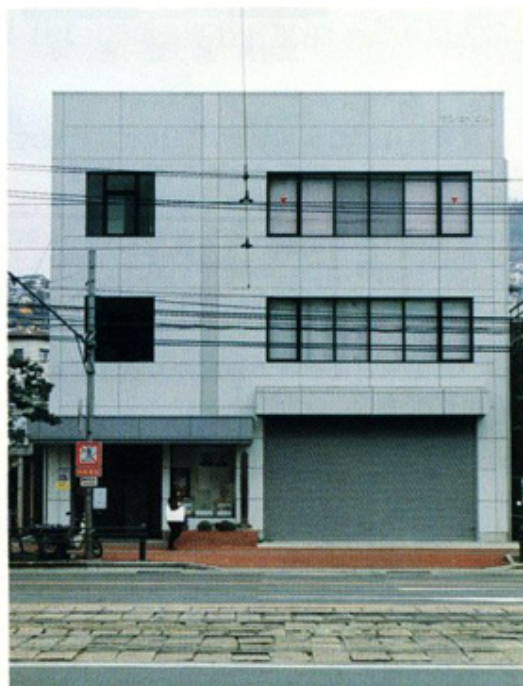


社 訓

一、誠 実
一、信 念
一、実 行



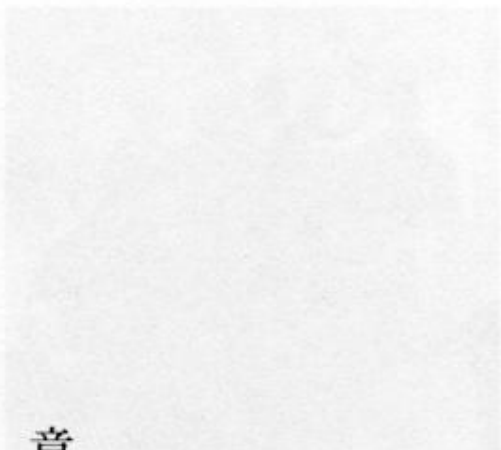
(株)星野組社屋 (宝町)



宝町サンセイビル平成3年完成



五木野 安次郎 幼少時



五木 安次郎 父次郎 (はなてんの中にご覧)

第一章

草創期

創業のあとしき

創業五木野安次郎 (昭和9年5月28日生) は石川県金沢市で2番目の子として生まれた。兄弟ではない当時の男子の多くが七つだ〜のように、若くして放蕩を説かれるのを恐れた。仕事を求め全国を転々としたが、本人の弁では日本全国何がなかつた所はなかつたほどだった。

ちなみに創業五木に河内た事業開始届けによれば、昭和5年5月10日事業開始、と記載されている。創業組は実に一世紀の歴史をかかえてきたことになる。

明治27年に始まるから増収率は翌年終結した。当時金沢の中心にいた安次

郎は佐賀県へ上郷した。しかし数年前の金沢でも自分のものとなる土着もなかった。仕方なく、借財で勢力があった松尾組 (現在の松尾建設) の大工となって働いた。その後明治34年(1901)になってや〜と決心がついたのか、金沢はいな家族を親津へ呼び寄せた。

大正2年、松尾組は川上川発電所の工事に参加したが、安次郎は小工として参加している。この頃、松尾組の新員は佐賀だけでなく九州全域に及んでいた。松尾組は日本の港の中でも屈指の貿易港であり、大都市の長崎にも進出する計画を立てていた。安次郎は樹が真面目だったことから松尾清一郎長に認められ、責任者の一人として長崎に派遣された。この長崎への派遣が決



左前列：星野安次郎



中央：星野安次郎（はんてんの字に注意）

創業のあとさき

創業者星野安次郎（明治9年5月28日生）は石川県金沢市で7番目の子として生まれた。長男ではない当時の男子の多くがそうだったように、若くして故郷を離れ苦勞を重ねた。仕事を求め全国を転々としたが、本人の弁では日本全国行かなかった所はなかったほどだった。

ちなみに商業大臣に宛てた事業開始届けによれば、明治25年5月10日事業開始、と記載されている。星野組は実に一世紀の歴史を歩んできたことになる。

明治27年に勃発した日清戦争は翌年終結した。当時朝鮮の仁川にいた安次

郎は佐賀県唐津港へ上陸した。しかし故郷の金沢へ帰っても自分のものとなる土地も家もなかった。仕方なく、佐賀で勢力があった松尾組（現在の松尾建設㈱）の入夫となって働いた。その後明治44年（1911）になってやっと決心がついたのか、金沢にいた家族を唐津へ呼び寄せた。

大正2年、松尾組は川上川発電所の工事に着手したが、安次郎は小頭として参加している。この頃、松尾組の請負は佐賀だけでなく九州全域に及んでいた。松尾組は日本の港の中でも屈指の貿易港であり、大都市の長崎にも進出する計画を立てていた。安次郎は根が真面目だったことから松尾清一組長に認められ、責任者の一人として長崎に派遣された。この長崎への派遣が後



花見



松尾組の創業メンバー

日、星野組を創設する端緒となった。
大正5~6年ごろは欧州大戦後の復興
景気で日本国内は好況の中にあった。
この機をのがさず安次郎は独立した。
大正6年1月1日(1917)のことだ。
星野組として独立するよう勧め、後見
人となったのは松尾組の松尾清一組長
だった。

しかし、復興景気はインフレを招い
た。やがて物価は高騰し、人手は不足
し、賃金は上昇し続けた。工事の採算
性は悪くなる一方だった。

戦争復興景気は大正9年を境に急
速に下火に向かっていった。星野組は
設立早々に試練の波を被ることになっ
た。

松尾建設(株)社史によると、松尾組は
九州電灯鉄道(株)の稲佐発電所(大正
6)、大学病院、長崎税務署新築工事
(大正9)などの工事を施工している。
星野組は松尾組長の支援でこれらの工
事に参加した。安次郎は旭町1丁目2番
地に居を構え、大正12年に佐賀市に置
いてきた家族を長崎へ呼び寄せた。

大正4年 長崎に初めて電車が走った

長崎と上海を結ぶ日華連絡定期航路(長崎~上海航路)が大正12年(1923)に就航を開始している。週2便、所要時間26時間だった。

第二章

苦難を越えて

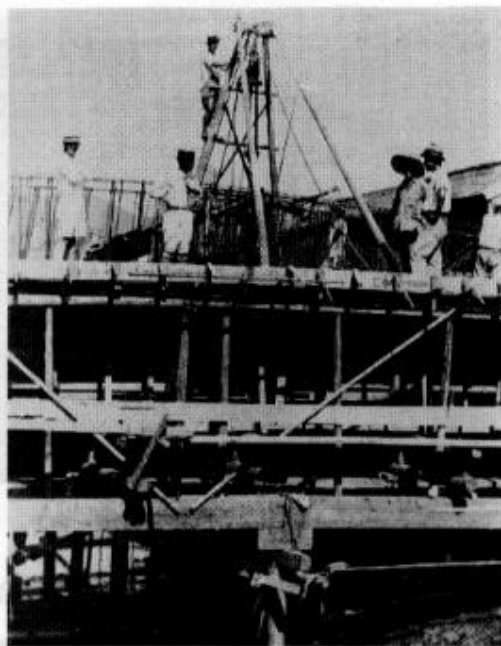
試練を克服して復興へ

18年には安次郎の長男新造（20歳）が
 長崎工業学校を卒業し、途中退学した
 ばかりの日見雄吉と出って長崎に来た。
 新造は強靱な体で公道、剣道に秀
 れ、頭腦明晰、多活な性格だった。大
 胆さと積極さを併せ持った新造の活躍
 で星野家は大きく転機を遂げていっ
 た。長崎市のみなとす、飛下一円、割
 高までも活動の場を広げていった。
 広く星野家のことが知られていく
 のはこの頃だ。

（22歳）が昭和11年に軍艦「三隈」の第
 一砲艦長のため長崎を訪れた。谷村は
 この時、親戚にあたる星野家を下宿先
 として依頼した。当時すでに星野家の
 船いは長崎ではトップクラスの船位を
 確立していた。安次郎は長崎の土木会
 会長だった。新造の意気は金銭めが
 めを向け、長い会合のついた米國製ウ
 ェルサムの懐中時計をさげ、長の水の
 太いスチラキ（俗に穴殺し）をもち、
 平分を引き連れて取り巻くという様だ
 った。

谷村はその後、何回か星野家を訪問
 したが、星野に行く度に10円を小遣いに

橋梁工事現場



試練を克服して復興へ

安次郎の事業が本格化してきた大正14年には安次郎の長男義徳（20歳）が佐賀工業学校を卒業し、翌年開通したばかりの日見隧道を通過して長崎に来た。

義徳は強靱な体で柔道、剣道に優れ、頭脳明晰、快活な性格だった。大胆さと繊細さを兼ね備えた義徳の活躍で星野組は大きな飛躍を遂げていった。長崎市のみならず、県下一円、対馬までも活動の舞台を広げていった。広く星野組の名が人々に知られていくのはこの頃だ。

星野と谷村の出会い

のちに星野組支配人となる谷村正一（22歳）が昭和11年に軍艦「三隈」の第一次艦装のため長崎を訪れた。谷村はこの時、親戚にあたる星野家を下宿先として勤務した。当時すでに星野組の勢いは長崎ではトップクラスの地位を確立していた。安次郎は長崎の土木会会長だった。跡取りの義徳は金縁めがねをかけ、長い金鎖のついた米国製ウォルサム（俗に犬殺し）の懐中時計をさげ、桜の木の太いステッキ（俗に犬殺し）をもち、子分を引き連れて練り歩くという様だった。

谷村はその後、何回か星野家を訪ねたが、星野は行く度に10円を小遣いに



竹筋コンクリート

渡した。その頃、海軍にいた谷村の給料は10円だった。親戚として、また請負師としての体面もあったろうが、事業が順調に発展していたことが推察される。

現在残っている工事としては、中島川に架かるくろがね橋（西浜町通称てつ橋昭和6年架設、平成元年㈱長崎土建工業所と㈱星野組の共同企業体で架換）や銅座橋（昭和8年）などがある。くろがね橋の工事の際、星野の親戚で事業の応援に富山から来ていた新田佐一郎が、煮えたアスファルトで大火傷をしたということが伝えられている。

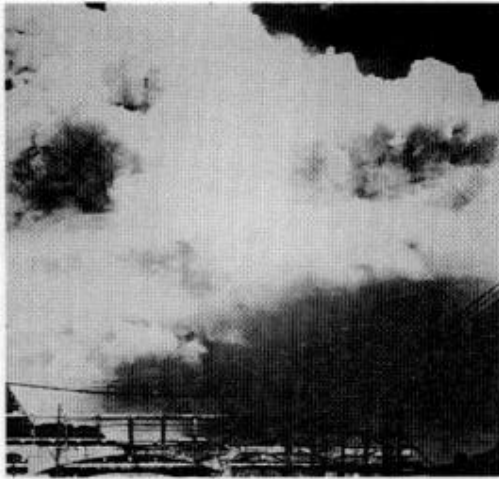
昭和13年(1938)、戦時体制がしかれ、物価上昇が続き、建設資材も値上がりしていった。こうした中、星野組

は個人営業から合名会社に組織変更した（資本金50,000円、安次郎29,500円、義徳20,000円、義徳の妻チエ子500円）。資本金50,000円は当時の請負業としては抜群の高額資本金だった。

戦時中のこの頃の三菱長崎造船所は最盛期で5万人に近い従業員がいた。昭和62年の従業員8,000人と記録にあるので、同造船所がたどった盛衰を計り知ることができる。

昭和15年、健康体を誇った義徳が36歳で脳溢血に倒れた。幸い命は取り留めたものの左半身不随となった。

星野組の先行きを気づかった安次郎は、支那事変に兵役召集され、のちに名古屋の三菱航空機に勤務していた谷村正一を訪ね、長崎で1～2年でも手伝



原 爆



片足鳥居より市街地を望む (S.25)

ってくれるよう要請した。谷村は承諾はしたものの、大工の技術は修得していたが、土木建築の請負についてはまったくの素人だった。

安次郎は谷村に星野組の後継者として必要な仕事の初歩から厳しく教えた。信用をなによりも重んじ、従業員を大切に、労働を美德と考え、材料の無駄を決して許さず、何を犠牲にしても星野組のために尽くすことに強い使命感を持つよう徹底的に教育した。

この精神は今も脈々と星野組に受け継がれている。昭和15年10月、谷村正一は安次郎の娘あや（31歳）と結婚した。

戦火が拡大する中で

第二次大戦は昭和14年(1939)に始まった。日本は昭和16年の真珠湾攻撃から太平洋戦争に突入していった。米、木炭、酒が配給制となり、主要資材が不足し、働き手の男が兵隊に採られていった。星野組の仕事は防火水槽や防空壕掘り、防空道路の建設が殆どだった。

昭和15年、旭町より宝町1丁目5番地（現本社所在地）に本社と住いを移転した。第二次大戦中は国の施策に依り企業合同し、第一土建株式会社に合同され終戦を迎えた。第一土建株式会社は小川町にあり代表者は黒川繁太郎氏だった。昭和18年には谷村正一は再び出征した。何もかもが戦時一色となっていた。

昭和15年島原と諫早が市になった

昭和17年大村が市になった



被爆した浦上天主堂 (S.24)



原爆投下そして終戦

第5次に及ぶ長崎空襲が繰り返された後、昭和20年8月9日午前11時2分、B29爆撃機が原子爆弾を長崎に投下した。

原爆の爆風と熱線によって、松山町の爆心地から半径1km以内は全壊、全焼した。半径2km以内では約80%が倒壊し全焼した。更に翌9日には爆心地を中心に発生した火災に次いで、正午過ぎには旧市内で第二次火災が発生した。

記録によると原爆による被害は死者7万3,884人、重軽傷者7万4,709人、被災人員12万人以上、建物の被害は全焼、全壊、半壊が1万8,409戸、焼失面積203万1,000坪に及ぶ想像を絶するものだった。長崎駅以北は完全に焼け野

原だった。大橋から長崎駅まで見とせる程なにもかもがなくなっていた。

幸運にも星野一族は一人の死者を出すことなく長与へ脱出したが、宝町の星野組社屋は火災にあい焼失した。広島、長崎と続く原爆投下で終戦の機運が高まり、昭和20年8月15日戦争は終結した。

余談だが原爆投下から59日後、10月7日に長崎くんちの奉納踊りが諏訪神社で演じられたという。小規模だったが、長崎市民は「もってこーい」の呼び声に終戦を実感したといわれる。それにしても何というたくましさだろうか。

11月末の復員総数8,028人(未復員推定6,638人)、出征していた星野組の職員も戦地より帰還し始め、焦土と化



長崎復興工事事務所前（中町）

した長崎の戦災復興に活動を開始した。最初に手掛けたのは第一土建（企業合同）からの下請けで、長崎駅前から小川町にかけての道路拡幅と電車軌道整備工事だった。

長崎電気軌道(株)と星野組

戦前、長崎電気軌道(株)の社長だった山田鷹治氏と星野安次郎は懇意の間柄だった。山田社長は三菱長崎造船所の副所長だった脇山勘助氏を長崎電気軌道(株)に迎えた。星野組を脇山氏に紹介してくれたのは山田鷹治社長だった。

脇山勘助氏は昭和4年に支配人、昭和19年には社長となった。ご縁を得た星野組は戦前、戦後の困難な時代を脇山社長と共に過すことになった。空襲、原爆と壊滅的な打撃を受けた電車



長崎復興工事事務所スタッフ（S25中町公園）

軌道の復旧を星野組が一手に担うことになった。

星野組は当時、セメントを大黒町の大川商店から仕入れており、長崎電気軌道(株)の仕事についても同様だった。脇山社長の実家は入来屋商店で砂糖、セメントを商いとしていたにも拘わらず、星野組が入来屋からセメントを買うことを望まなかった。公私のケジメを押し通す頑固なまでのその態度は、氏の高潔な人格を偲ぼせる。それ以降現在まで、電車軌道で星野組の手のかかっていない所はない程の御愛顧をいただくことになった。

戦災復興事務所と

長崎県都市計画

長崎県内政部長は、爆心地帯の各町内



坂本町医大横～浦上天主堂への道路工事現場 (S.25.1)

会長を通じ住民に対し「浦上一帯は今後70年は草木も生えない」として退去命令を出していた。

しかし、大部分の被爆者たちは被爆地を離れようとはしなかった。終戦の混乱で自分の生活も不自由する中でも、真剣に長崎の復興計画は進められていた。昭和21年3月(1946)、長崎県の土木部計画課は長崎戦災復興工事事所として発足した。

昭和24年8月9日には「長崎国際文化都市建設法」が公布された。長崎の復興は日本の歴史の中に占める偉大な役割と、世界史に残る原爆の洗礼によって、国家的な意義をもつことが認識された。同法の制定経過について建設省編「戦災復興史」には次の様に書かれている。

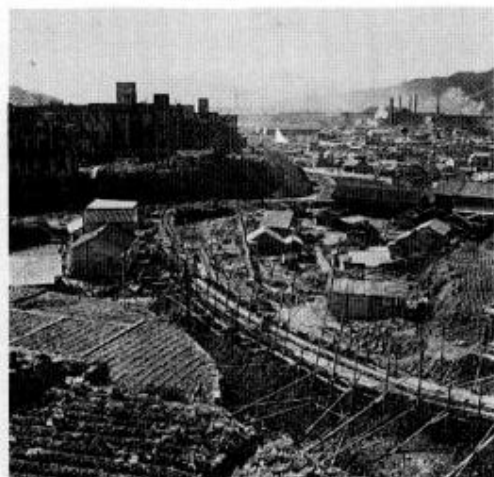


坂本町無筋コンクリートアーチ水路工事枠 (S.25.1)

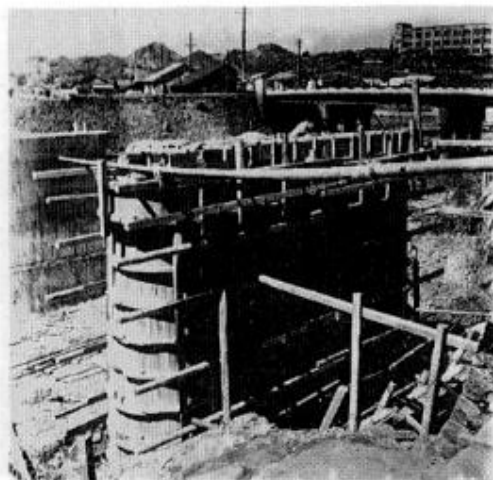
「終戦の素因を作り、ひいては戦争放棄の日本新憲法の制定の動機となった原爆都市長崎は、平和と文化運動の基地として重大な意義を有するものであるから、国際文化交流の中心地として、世界平和の推進の聖地として、将来平和社会の理想郷としての環境と施設を整備し、長崎文化都市として建設すべきである」という澎湃たる意見は、ついに昭和24年5月第五国会における同法の提案となり衆参両院全員一致をもって可決された。

高い理想に貫かれた同法の決定により、長崎市における都市計画の基礎が作られた。当然のことだが長崎の都市計画は戦災復興に重点がおかれた。

星野組も終戦直後は、原爆で倒れなかった建物や煙突の取り壊しなどに忙



坂本町道路工事 (S.25.1)



大橋軌道橋橋脚

殺されるが、瓦礫を片付ける作業と腐乱した遺体を収容する同時作業は難渋を極めた。加えて混乱期に不法に建てられたバラックやヤミ市建築が関係者を悩ませた。

しかし、引き続き記念公園大橋野球場建設、祈念平和公園整備、西浦上土地地区画整理事業、旭町都市改造事業、稲佐海岸線街路築造、大波止小ヶ倉線改築、小ヶ倉蜚茶屋線等々、都市計画事業の実行部隊として、今日まで大きな事業をさせて頂くことになった。

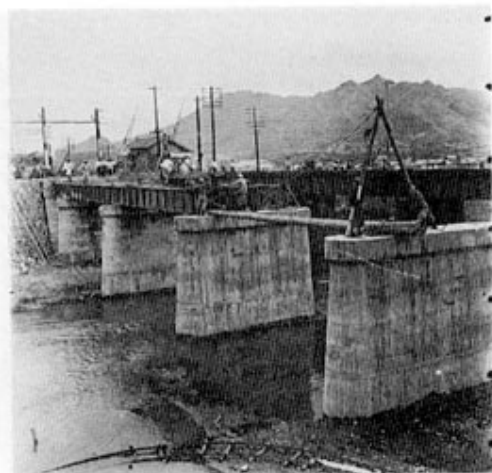
支配人谷村正一のこと

昭和22年4月、星野義徳(43歳)が代表社員に就任した。同年11月14日、義徳の父安次郎が永眠した。行年72歳だった。死の寸前に残した、半身不随

の義徳の将来を気遣う遺言ともとれる言葉により、谷村は義徳の代人として星野組の再興を一生の事業とすることを決意した。

安次郎の出資金29,000円は娘のあや子の婿である谷村正一(35歳)に譲渡され、併せて資本金を500,000円に増資した(星野義徳320,000円、谷村正一179,500円、星野チエ子500円)。谷村正一は星野組支配人となり、星野義徳を補佐することになった。以後谷村は星野の復興を旗印に、強力な指導力を発揮していくことになる。

この年の長崎の人口19万8,522人(男9万8,296人、女10万226人)。公選の第1回知事選挙で前知事杉山宗次郎氏、市長選挙では大橋博氏が当選した。5月3日には日本国憲法が施行され



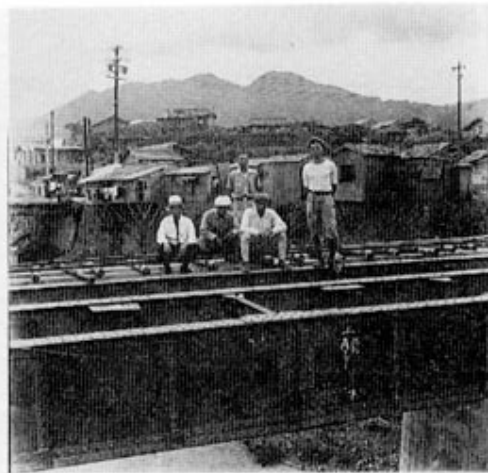
大橋軌道橋上部桁架設

た。
昭和24年、更に資本金を1,000,000円
に増資した(星野義徳620,000円、谷村
正一379,500円、星野チエ子500円)。

大橋～住吉間の軌道延長工事

昭和25年(1950)には長崎電気軌道(株)
発注の大橋～住吉間軌道延長工事を行
い、浦上川の大橋軌道鉄橋を架設し
た。軌道延長工事は長崎市の急速な人
口増加を反映していた。

市民の期待を一身に受けたこの工事
の完成により、長崎の復興はさらに拍
車がかかることになった。本工事の完
成にあたり長崎電気軌道(株)脇山勘助社
長より感謝状を頂いた。



大橋軌道橋 (S.25.7)

昭和25 大橋住吉間電気軌道延長

昭和25 浦上川大橋電気軌道鉄橋

昭和26 記念公園大橋野球場建設

昭和26年、星野組は記念公園大橋野
球場を建設した(長崎市長大橋博)。
この年には公職追放となっていた西岡
竹次郎氏が長崎県知事に立候補し、現
職の杉山宗次郎氏をやぶり初当選を果
たした。

第三章

金沢市金沢区 昭和25年春

耐乏から発展へ

波乱を乗り越えて

諏訪神社の第一子丸井は元来、管轄
 制で「かね」の号を以ては日本一を
 誇っていたが、早くも戦中に戦時物
 資として取り壊され、取り壊し
 作業を行ったのは翌年非常勤役員工務
 所で、屋長は橋本社長の長だった。一
 貫はこの「かね」の号として社務の
 で、昭和25年に、社長の職責に呼び
 がた、長崎の長子丸井神社に申し出
 た。しかしそのころには元来
 だったため諏訪神社はこれを断った。
 た。ところが諏訪神社が建てにしてい
 た正堂工は、丸井の社務の発展も作
 るなどして苦境を乗り越えている状況下

だった。担当長だった橋本和法八氏は
 職工業務をまがすことになったが、取
 扱役員の正務で手一杯と、元元大平重
 吉はどことも相手にしてくれなかつた。
 是西組に託がされた種。定時した支配人
 の谷村正一は「おが存ました、せがま
 しょう。長野組に託がていい記念にな
 ります。案件をまがせてください。こ
 こが返事でも承諾した。

しかし、長野組はそれまで高松とい
 うものを託がたことがなかった。当時
 の委嘱所建築部長丹羽源次郎に依頼
 し、建設地の調査やら、仕舞の形や強
 弱などを見学したが、京島の平安御所



合名会社星野組 昭和25年頃

波乱を乗り越えて

諏訪神社大鳥居の建立

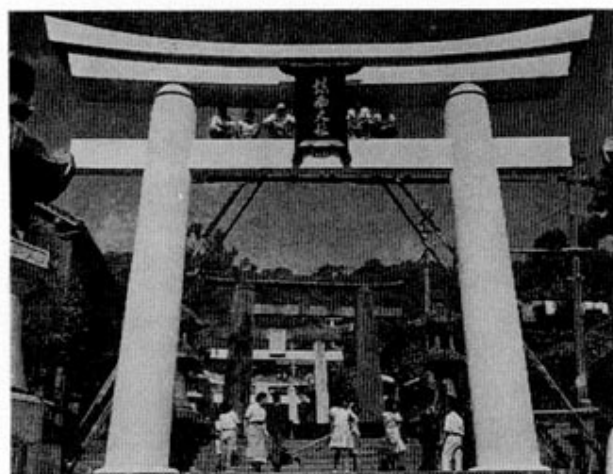
諏訪神社の第一大鳥居は元来、青銅製で『かね』の鳥居としては日本一を誇っていたが、太平洋戦争中に戦時物資として取り壊されていた。取り壊し作業を行ったのは金属類非常回収工作隊で、隊長は橋本和太八氏だった。

氏はこのことを心残りとしていたので、昭和23年に元工作隊の隊員に呼びかけ、鳥居の復元を諏訪神社に申し出た。しかしコンクリートによる復元案だったため諏訪神社はこれを断わった。ところが諏訪神社があてにしていた三菱重工は、漁船の修理や炭車を作るなどして苦境をしのいでいる状況下

にあって、鳥居の奉納どころではなかった。

昭和26年(1951)になって逆に諏訪神社より鳥居再建の願いが金属組合になされた。組合長だった橋本和太八氏は施工業者をさがすことになったが、戦災復興の工事で手一杯と、地元大手業者はどこも相手にしてくれなかった。星野組に話がきた時、応対した支配人の谷村正一は「わかりました、やりましょう。星野組にとっていい記念になります。寄付もさせてください。」と二つ返事で承諾した。

しかし、星野組はそれまで鳥居というものを造ったことがなかった。当時の長崎市建築課長丹羽漢吉氏に相談し、鹿児島島の照國神社、佐賀の祐徳稲荷などを見学したが、京都の平安神宮



諏訪神社鳥居竣工

の鳥居が一番参考になった。型枠や支保工など未経験の問題が見事に記録に残されていたからだ。研究に一年近くを費やし、現場主任を野中覚として翌年着工に漕ぎ着けた。

谷村正一（39歳）は当時のことをこう語った。「橋本さんは、予算はこれだけしかない、これでやってくれと言われた。しかし鳥居建立の予算はどう考えてみても赤字間違いなしの数字だった。当時物価高騰の中、星野組はあすの職員の給料も不自由する程金策に苦労していた。橋本さんは机の上に現金150万円を積んだ。現金が欲しかったと同時に、星野組を信頼して前金を預けるその太っ腹に感激した。信頼には信頼でこたえなければならない。」

星野組は奮起し、鳥居は再建され

た。だが予想通り工事は大赤字だった。橋本氏は赤字の負担を申し出たが、谷村支配人は顔色を変えてこれを断った。「戦争で財産も土地も無くしてしまった星野組の財産は信用です。請負師として信用を失うようなことはできません」というのが断りの理由だった。

星野組は厳しい予算の中で立派な仕事をしてくれたと、谷村支配人の心意気に感激した橋本氏は、「年下の兄貴に教えられた」と、ことあるごとに人に語られた。

ちなみに、昭和26年の星野組の完成工事高44,000千円、純益3,700千円だったが、大鳥居を建立した翌年には完工高57,000千円、純益850千円と実益は大きく低下した。インフレが続き、



中央橋竣工

昭和26年に8円だった電鉄運賃は毎年値上げされ、昭和28年には13円になるほどだった。

中央橋補強工事で技術を実証

昭和27年（1952長崎市長田川務）には、長崎市土木課より中央橋建設工事が発注され、星野組はこれを受注した。

中央橋という名は市民から募集して決められた。3月にとりかかり請負額16,500千円、9ヵ月の日数を費やし12月5日には田川市長、西岡知事の参加を得て渡り初めを行なった。当時の事業成績報告書に現場主任の尾崎敏雄（のち協星技建代表取締役浦田敏雄）は次のように書き残している。

「観光都市の表徴たる本工事の請負

入札に当り猛烈な競争にも拘らず、地元業者としての体面上損得を度外視し落札せしに、工事施工に当りては目抜き場所にて衆人監視裡に、且つ数回の設計変更による工事の死節並びに変更を余儀なからしめられ、後述の如き物心両面にかかる損失を生じたり、然れども本工事の無事竣工を見たるを多としあり」（原文のまま）

昭和62年、河川改修工事のため36年ぶりに中央橋の橋台橋脚補強工事が発注され、星野組はこれを手掛けることになった。着工に当たり、橋を調査すると、表面は痛んでいるが構造的な損傷はまったくと言っていいほど見られなかった。

当時はすべてが人力に頼った時代である。それにも拘らず、設計時点での



長崎ではじめてのブルドーザー（桜町）



桜町立体交差竣工

予想を遥かに越える重交通に耐えてきたということは、大きな驚きだった。丁寧な仕事になされたと同時に、昨今コンクリートのアルカリ反応が指摘されているが、当時のコンクリート（現場練り）、骨材は玉石、川砂だったことが幸いしたと考えられる。

桜町立体交差工事で ブルドーザー初登場

昭和28年（1953長崎市長田川務）には、桜町の立体交差橋梁工事を競争のすえ受注した。当時桜町から県庁へ通ずる国道と、駅前から本大工町へ抜ける市道が桜町で交叉していた。この市道を国道の下へ交叉させ、電車や自動車の交通を滑らかにするのが目的だった。切り通しを作り、橋を架け、電車

軌道に移設する工事が2ヵ年、約40,000千円の事業費をかけて進められた。

当初の予想に反して工事は難行し、従事した人夫延べ4万7,500名、捨土3万立方メートル、トラックで1万2,000台を要した。この工事で星野組は長崎で初めてブルドーザー（小松製作所D50-41）を使った。つるはし、スコップの工事を見慣れていた当時、うなりをあげて土を押し機械力による工事は評判になり、これを見ようと集った見物人の中で仕事は行われた。この工事を契機に星野組の工事にはブルドーザーが出動して威力を発揮した。

昭和27 大波止思案橋線中央橋架橋

昭和27 諏訪神社大鳥居建立

昭和28 折念平和公園整備

昭和28 桜町立体交差



建設会館落成記念、(S.29.12) 隣りは第一土建

昭和29 桜町電気軌道移設

昭和30 玉木学園増築開始

昭和31 長崎遊園地建設

上野喜左衛門氏との出会い

星野組は茂里町の現長崎バス車庫前の小川の浚渫を請け負った。へどろを揚げると原爆による死者の遺骨が次々と出てくるので、人夫も気味悪がって川の中に入りたがらなかった。しかたなく支配人の谷村は率先して川に入り仕事を進めていった。

これを見ていたのが長崎自動車社長上野喜左衛門氏であった。感心した氏は、長崎バスの営繕工事を全面的に星野組に任せることを告げた。この好意は昭和31年の長崎遊園地建設、長崎バス不動産部・崎陽地所の宅地開発工事

(昭和38 目覚宅地造成、昭和39～昭和40 新戸町、上戸町団地造成、昭和42～昭和45 横道団地造成、昭和45百合野団地) へとつながっていく。

氏は星野組を母体に、業種にわけて別会社を作ることを勧めた。大きな一社を作るより、結合した小さな数社の方が、合計規模や雇用などの地域貢献度、リスクの分散など有利であると教えてくれた。この助言が将来、星野管工設備(株)、長星開発(株)、協星技建(株)設立への理論的基礎を与えた。

昭和29年、資本金を1,500,000円に増資した(星野義徳820,000円、谷村正一680,000円)。

昭和27年12月 中央橋完成
昭和28年 7月 市宮陸上競技場、庭球場開設
昭和28年 現在の県庁舎が出来た
昭和29年 3月 桜橋立体交差完成

堤 祥一 昭和28年3月入社(30歳) 大正12年10月10日生 昭和19年東京農科大学土木科卒(退社)
佐藤芳雄 昭和28年7月入社 大正8年5月15日生(退社)
藤沢れい子 昭和29.3入社 昭和5.3.30生(退社)



(合) 星野組旧社屋 (宝町)

同年(1955長崎市長田川務)、星野組は銅座川河川付替工事を完成した。本工事は新地から湊公園の前を通り港にそそいでいた銅座川を、十八銀行本店横から中島川へ切り替える工事だった(市政展望に記事あり)。

（以下は本文の重複部分）

- 昭和30年1月 深堀村、福田村を長崎市に編入
- 昭和30年2月 日見村を長崎市に編入
- 昭和30年8月 平和祈念像除幕式<北村西望作>
- 昭和30年 西海橋開通

昭和30年1月	深堀村、福田村を長崎市に編入	昭和30年1月	深堀村、福田村を長崎市に編入
昭和30年2月	日見村を長崎市に編入	昭和30年2月	日見村を長崎市に編入
昭和30年8月	平和祈念像除幕式<北村西望作>	昭和30年8月	平和祈念像除幕式<北村西望作>
昭和30年	西海橋開通	昭和30年	西海橋開通

長崎市政展望

9月号

おらんだ橋みごととに竣工

模様替えする銅座川一帯



銅座川河点には電車が運行されていた。われ、橋梁もこの移設と相俟川付替工事にととなりおらんだ橋の架設工事は、一年近くの日を費し、このほど見事に完工、去る

八月二十七日、先行の三代夫婦に選ばれた市内東小島町の安達内政治さん一家をはじめ田川市長ら関係者多数参列の下に渡り初め式が行われました。

おらんだ橋の工事は、長崎国際文化都市建設事業の出島土地区画整理に伴う銅座川付替関係工事として施行されたもので、計画当初から種々検討が進められてきましたが、二十九年頃から着工することになり橋梁工事は、株式会社小柳組の施工することとなつて、区画整理最初の工事として着工されたのであります。

◇写真はおらんだ橋の渡り初め◇



れたのであります。八月二十日最後の仕上げを終り竣工を見たのであります。本橋は総工費一、〇〇八万円で橋長約二〇八二メートルの二徑間単純支持T型桁鉄筋コンクリート橋で、一年近くの日数を要し使用された材料はセメント約二二五屯、鉄筋四六・四屯、労力延約七、〇〇〇人であります。

一方河川付替工事については、電話局分室はじめ、民有土地家屋等があつてこれらの移転問題のため工事着手の遅延を見たが、各所有者及び関係者の協力を得て九月末移転着手され一月はじめ大休の完了を見るに至り一月下旬合名会社屋野組の手により着工されたのであります。

ついで三月中旬には電話局分室の移転も終り一万立方メートルの残土も銅座川崩川部の埋立及び原簿公園へと処理され八月四日約半年を要し竣工したのであります。本工事のあらましは、総工費五一四万円、延長八三米、河幅(天橋)



(銅座川河川付替現場見取図)

二・六〇〇個、セメント五三・七屯、延約五、七〇〇人でありました。

本橋梁及び河川付替箇所附近は元来海であつたが、明治二十年頃の中島川改修工事により青果市場附近と同時に埋立されたところをそれまで出島のオランダ商館或はそれと並んで、当時繁栄を極めた唐貿易の依拠所が、楽町の前面(今の十八銀行附近)に荷の積卸がなされていた所と思われる。その後千馬町、入江町附近の埋築がなされるに及び当時の面影も見出し得ないが、本工事施行中には数条の石積が出てこれら埋立の家遷をしのげるものがありました。

第八回婦人の日大会

9月10日三菱会館で

第八回長崎市婦人の日大会 場所 三菱会館
 期日 九月十日(土)午後〇時三十分〜四時十分
 主催 長崎市教育委員会、長崎市婦人の日実行委員会
 参加者 長崎市在住の御婦人多数御参加下さい。

開会のことば、②挨拶、③演説、④意見発表、⑤全体討議、⑥世界母親大会出席談、⑦決議宣言、⑧閉会のことば、⑨レクリエーション(映画)



故 鈴木大四郎精霊船

台風9号の襲来

昭和31年、長崎は二度にわたり大型台風に見舞われた。8月16日から翌17日にかけての台風9号で死者6人、負傷者21人、被災人員3,720人、家屋の全半壊771戸、被害総額7億4,000万円の被害が出た。続いて9月9日に台風12号が長崎県下を襲った。長崎市内での被害家屋全半壊79戸、堤防の決壊10ヵ所、被害総額5,632万円に上った。

災害復旧工事の中で特筆するものとして、中島川堰堤工事（江戸町、出島町）がある。

昭和31年暮れに発注された同工事は出水時に洪水を調節する目的をもち、平時には上流を湖水のようにして市民の憩いのための遊船場とし、非常火災の際は消防用水とするなど、多機能を意

図したものだった。十八銀行本店の裏附近に高さ6.5m、長さ11mの水門を設けて、水の深さ2.8mにたたえる計画で、水門工事から着手した。台風災害の後でもあり、市民の期待は大きく、長崎県は工期内完成を強く要請した。星野組は鈴木大四郎初代現場監督を先頭に、翌年4月までの超短期突貫工事を進めていった。

工事半ばに悲しい事件が発生した。夜間の作業のため、自宅から歩いて現場へ向かっていた鈴木監督が自動車にはねられ死亡した。車はそのまま逃亡し、犯人は現在なお判明していない。社内では土木技術の最古参格だったが、温厚な人柄で職員から慕われていた。経営陣の中核として嘱望されていただけに、星野組にとっては大きな痛



星野組が完成させた堤防工事の様子

手だった。氏を知る人は今なお残念さを語る。

社葬の後、堤祥一が現場監督を引き継ぎ、当初目的の工期に完成をみた。連日の昼夜兼行の突貫工事で、全員が祝杯をあげて完成を喜んだ。

この工事で星野組は初めてトレンチシートを二重打ちにし、その間に赤土を詰めて周囲を固め、水切りを行う工法を採用した。仕切られた内部の水をポンプアップし、その中で掘削などの作業を進めた。現在のケーソンを簡略化したものを現場で人力で行なったのだが、この工法でも5m程度の水圧には充分耐えた。

ところで、このユニークな発想の水上公園計画の堰堤は、実際には利用されることなく、昭和57年の長崎大水害

の後撤去された。中島川の川沿いの公園も災害復旧工事と、それに続く公園整備工事で、当初構想から実に30年以上の歳月を経て市民の憩いの場となった。

諫早地方の大水害

昭和32年7月25日、諫早、大村両市を中心に島原市、南高来郡、北高来郡が800mmを越す集中豪雨に見舞われた。死者・行方不明者815人を数えたが、特に諫早市では山津波と市中を流れる本明川の氾濫で、死者・行方不明者539人という大きな被害を受けた。

星野組はこの水害の復旧工事にあたり、山田川、舟津川両堤防の護岸工事、権現崎の防波堤災害復旧、山田川、舟津川両頭首工工事を請負い完成した。

藤沢九州生 昭和31年1月入社(30歳) 大正15年4月29日生 長崎造船専門学校機械工学科卒(退社)

宮原 増幸 昭和31年4月入社(23歳) 昭和8年3月21日生 明治大学経営科卒

田 測 和夫 昭和31.7入社 昭和06.10.13生 長崎高等工業(退社)



松ヶ枝橋開通式 (S.33)

この一連の工事に対して瑞穂町吉田祐良町長より星野組に感謝状が贈られ、面目を施した。

幾つもの災害を災害復旧工事の面から関わる中で、台風や水害という自然の猛威の前には、人の力は全く無力であることを先輩たちは思い知らされた。土木工事は、ある意味で自然を押し込むという面もあるが、自然の力に逆らわない知恵が土木工事の真髄だと体験した。そして、常日頃から緊急災害時に管理者の指令の下、即実行できる体制をとることが社会に対し貢献できる道だと痛感し、この経験はその後の災害時に活かされていった。

松が枝橋架設

昭和32年、長崎県より受注した松が枝橋は、長崎で最初の床版にPC桁を使った橋梁だ。当時、星野組は長浦橋など橋梁を数多く施工していたが、初めての工法ということで関係者の期待は大きく、当社の技術水準の高さを証明した。

昭和33年1月11日、橋の完工式を前に西岡竹次郎県知事が病に倒れた。14日には過労からきた肝性中毒による心臓衰弱で死去した。西岡知事の後任には、佐藤勝也元副知事が金子岩三前県議会議長と激しい選挙戦を展開して初当選した。

ところで松が枝橋は昭和62年、松が枝橋拡幅埋立工事として再度星野組で受注し、化粧直した姿を観光地南山

小畑 悟 昭和32.4入社 昭和13.10.15生
長崎高等工業 (退社)

山下 宏 昭和32.5入社 大正15.8.15生
京城工業土木科卒 (退社)

白石善人 昭和32.8入社 大正4.11.11生
鶴崎工業 (退社)

昭和32年4月 稲佐山登山道路開通式
昭和33年3月 長崎市役所火災



松ヶ枝橋梁埋立 (H.1)

手入口に見せている。

昭和32 中島川都市水利整理
 昭和32 長浦橋架橋
 昭和33年資本金を2,000,000円に増資した(星野義徳1,020,000円、谷村正一880,000円、星野義次100,000円)。

昭和33 浦上川竹岩橋架設

昭和33 井樋ノ口電気軌道移設

昭和33 水の浦橋架設

昭和33 大江橋架替

昭和33 大子橋架設

昭和34 外浦馬町線街路

昭和34 琴川橋架替

昭和35 日見団地敷地造成

昭和35 伊王島線道路改良

昭和35 大串柚香橋

昭和36 村松橋架替

昭和35 旭町都市改造街路築造開始

昭和35 雲仙ゴルフ場拡張整備工事

昭和36 汚水管工事開始

昭和37 長崎野母港線舗装新設開始

昭和37 稲佐海岸線街路築造

昭和37 長崎国道蜚茶屋築築

昭和37 大浦縦貫線街路築造

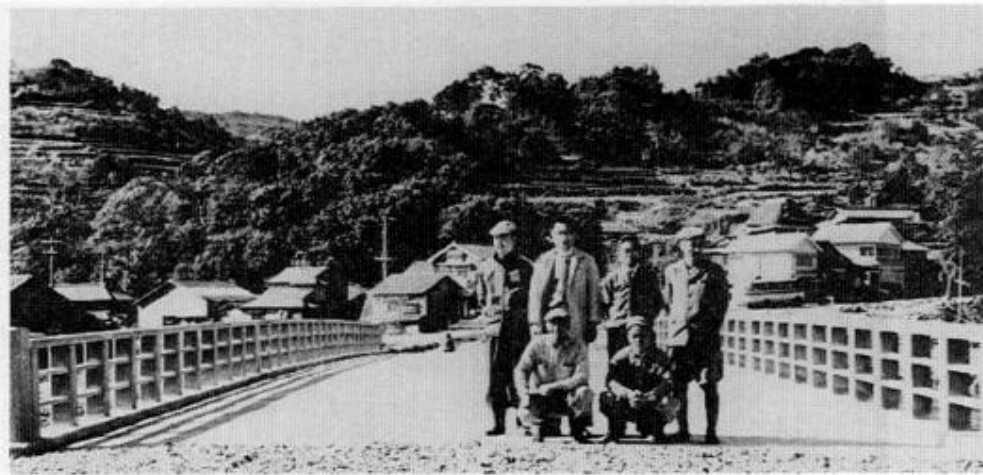
昭和37 建設省長崎工事事務所建築工事



運動会

佐々木徳三郎 昭和34.5入社 明治35.01.29生
 三菱工業本科卒 (退社)
 原口末丸 昭和34.3入社 昭和18.9.6生
 友田 修 昭和35.3入社 昭和12.03.27生
 福岡大学卒 (退社)

太田政保 昭和36.1入社 昭和06.09.17生
 諫早農業高校 (退社)
 清崎 武 昭和36.1入社 大正14.10.27生
 長崎高等工学校 (退社)



長崎佐世保線改良工事

崎戸大島と炭坑のこと

浮沈そして浮上

星野組が崎戸大島へ進出したのは昭和38年頃だった。

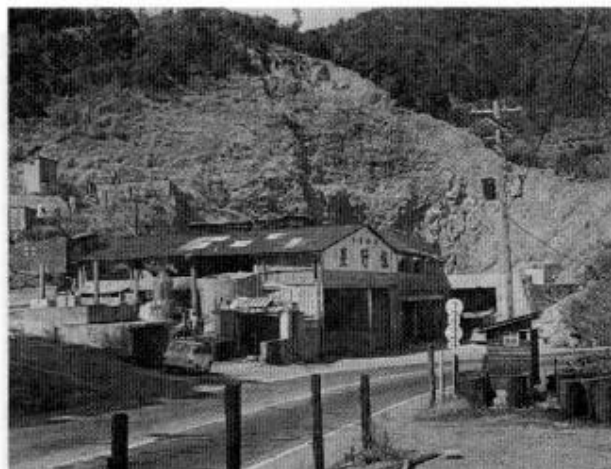
崎戸島は、江戸末期に捕鯨禁止令ができるまで捕鯨の前線基地として賑わったが、それ以降は半農半漁の寒村だった。明治19年、あわび採りの漁師が海底から黒いひと塊の石を拾い上げたことで一転石炭の島として発展をたどった。第二次大戦中は年産120万トンを生産し、昭和30年には人口28,000人の我が国屈指の石炭の町となったが、昭和32年をピークにエネルギー革命により次第に縮小を余儀なくされ、昭和43年にヤマの歴史を閉じた。

崎戸製塩所は昭和31年、三菱鉱業株式会社がヤマの将来の事態を予測し、合理化と多角化の一環として設立したもので、日本最大の海水直煮式製塩工場だった。現在は電気製塩方式に変わったが、九州唯一の近代的製塩工場として年産25万トンを生産している。製塩の副産水は操業以来、町民の飲料水として供給されている。

一方、大島町は西彼半島の西北に位置し周囲33キロメートル、面積13.5平方キロメートル、本土太田和港からフェリーで4キロメートル、15分で馬込港に着く。昭和10年、松島炭坑大島鉱業所が開かれ、炭坑労働者の流入が相次ぎ、昭和25年には15,000人、ピークの昭和34年には19,000人に膨れ上がった。しかし昭和30年代後半の石炭から

昭和34年10月 長崎ロープウェイ開通
昭和36年4月 昭和天皇后両陛下長崎
ご巡幸

昭和37年1月 茂木村、式見村を長崎市に
編入（長崎市人口39万人）
昭和37年6月 長崎市公会堂落成



日見プラント跡 (S.45)



長崎・佐世保線生コン車

石油へのエネルギー革命に抗し切れず、合理化を重ねたが昭和45年に閉山に至った。

人口も昭和47年には5,000人に激減していた。町の復興を賭け、昭和47年には大島造船所の進出が決定、同49年に操業を開始した。しかし、石油ショック、世界的造船不況、円高による世界市場での競争力低下と、幾多の試練に見舞われ続けた。近年、世界経済の好転と高度な技術力が見直され、島の基幹産業として再び脚光を浴びている。

昭和38 長崎佐世保線改良舗装開始
琴海西彼

アスファルト舗装を開始

昭和30年代半ばより国は道路行政を

強化していった。星野組もこの国家政策に従い、アスファルト工場を設備するなど、舗装の分野に力をいれていった。昭和33年には長崎市三川に、昭和35年12月には日見芒塚にプラント兼砕石施設を取得し、昭和38年稼働を開始した。日見プラントにはアスファルトと共に生コンプラントも併設した。昭和36年には長崎では初めての生コン車(1立方メートル)を装備したが、町を走るその姿はたいへん珍しがられたという。

昭和37年には西彼杵郡大島町の協力を得て、間瀬に8トンアスファルトプラント(のちに20トンへ入替え)、昭和47年には同町野田へ30トンプラントを建設した。崎戸大島地区には当社以外にアスファルトプラントがなかったの



長崎佐世保線・大串・亀岳
アスファルトプラント



電車軌道工事・黄色安全チョッキ

で、同地区の道路舗装はすべて星野組で施工していくことになった。

このような一連の設備投資の結果、星野組の仕事の中で国道、県道、市道のアスファルト舗装工事が大きな分野を占めていった。それまで舗装と言えば砂利舗装で、せいぜいセメントやタール舗装だった。アスファルト舗装の新技术を修得するため、大手舗装業者の協力を得て、長崎の星野組（星野義徳代表）、佐世保の西部道路（綿元実代表）、山口組（山口源六代表）、大村の平山組（平山久之助代表）の4社は、昭和35年長崎県舗装研究会を発足させた。

のちに舗装研究会は長崎県舗装協会（昭和43年、14社）、社団法人長崎県舗装協会（昭和54年、31社）と発展して

現在に至っている。

星野組と黄色のいわれ

道路工事が増えてきた昭和30年代後半、車から作業員の安全を守るため、人目に映える黄色のチョッキを着せた。今では格段目新しいことではないが、当時は業界で評判になった。従業員を危険な環境から守るという意味は、先代星野義次社長の「安全は金を産む。事故は人も、仕事も、会社も破壊する。安全のための金は惜しまない」という言葉に代表される。

以来、従業員の作業着は黄色を使用している。創業70周年を迎えた昭和62年に安全の願いと決意をこめて、星野組の会社カラーを黄色と定め、看板や車にも使用することとした。



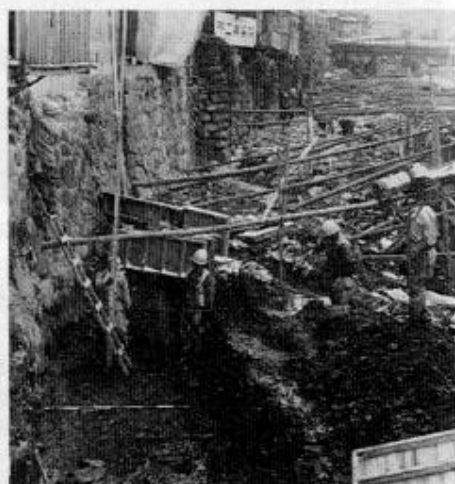
長崎・佐世保線S.37・生コン車



星野義徳



島原工区災害復旧 (S.38)



大波止思案橋暗渠工事 (S.39~40)



中川地区軌道工事スベンスワールリング (S.39)



桜町市役所前外浦馬町線路築造現国道34号



滑石団地宅地造成 (S.39)

葉山団地の造成

長崎市の人口増加で次第に市北部の開発が進んでいった。昭和21年に18万6千人だった人口は、昭和39年には40万人になろうとしていた。

時代は交通機関の拡充と団地を求めていた。昭和35年に電車軌道は住吉から赤迫まで延長された。団地開発も各地で行われ、昭和37年には大規模団地開発として我が国で最も早い滑石団地の開発が始められた。長崎電気軌道(株)においても葉山町(岩屋中学前)団地を計画し、星野組は造成工事を受注した。

昭和 39 稲佐海岸線旭橋架替

昭和 39 葉山団地造成(電鉄)

昭和 39 長崎国道大村工区舗装修繕

昭和 39 三和町大川橋架替

難渋した稲佐立体交差化

宝町から対岸稲佐へ通じる道は、浦上川に架かる稲佐橋が一番下流に位置していて重要な路線だった。年々増大する交通量に対処するため、同路線と国鉄長崎本線とを立体交差化することになり、星野組はこれを受注した。地盤が悪い上、湧水に苦しんだが竣工にこぎつけた。この工事が竣工した検査の日に、超大型物件にも関わらず地元業者が受注したことに疑いがあるとして検察庁に召喚され、公共工事の指名停止を受けるという痛手を被った。

この年、星野義徳は会長に退き、義次(39歳)が代表社員となった。新体制には新たに役員として藤澤九州生、宮原増幸の2人を加えた。昭和40年1月に星野管工整備株式会社(ガス水道設



稲佐立体交差着工前



稲佐立体交差竣工



稲佐立体交差杭打工



稲佐立体交差ベルトコンベアーによる床掘



稲佐立体交差PC桁



稲佐立体交差宝町本社前



稲佐立体交差床版



稲佐立体交差開通式



明治百年記念 (S.43.10)

備工事請負施工)を設立、6月には協星技建株式会社(舗装工事の請負施工)を設立、昭和43年には長星開発株式会社(生コン、アスファルト合材製造販売)を設立し、新人事と新時代にふさわしい分業体制をひいた。

(出資金 星野義次900,000円、星野義徳200,000円、谷村正一200,000円、藤沢九州生350,000円、宮原増幸350,000円)

昭和40 稲佐海岸線街路築造

昭和40 稲佐立体交差

昭和40 大波止思案橋田上線暗渠

昭和40 滑石団地宅地造成

昭和41 玉木学園運動場造成

昭和41 大村宮小路道路改良

更に昭和42年3月31日 増資 資本金 3,000,000円 (星野義次1,350,000

円、星野義徳300,000円、谷村正一300,000円、藤沢九州生525,000円、宮原増幸535,000円)

昭和42 コンポスト工場整地

昭和42 昭和町川平線道路改良開始

昭和43 恵美須町油屋町線道路改良開始

昭和43 横道団地造成 崎陽地所

昭和44 大波止小ヶ倉線街路築造

昭和44 長崎国道松原地区舗装修繕

昭和45 国道206号舗装 西彼琴海

昭和45 勝山馬町線舗装新設

昭和45 小ヶ倉蛭茶屋線街路築造開始

昭和45 中島川万橋橋梁架替

昭和43 長崎外港埋立、香焼町が陸続きとなる。

昭和40年4月 稲佐立体交差開通

昭和42年5月 諸谷義武長崎市長就任

昭和42年11月 長崎バイパス開通

昭和43年2月 長与村にコンポスト工場完成

昭和43年 深堀と香焼島が陸続きになった

昭和44年1月 滑石トンネル開通

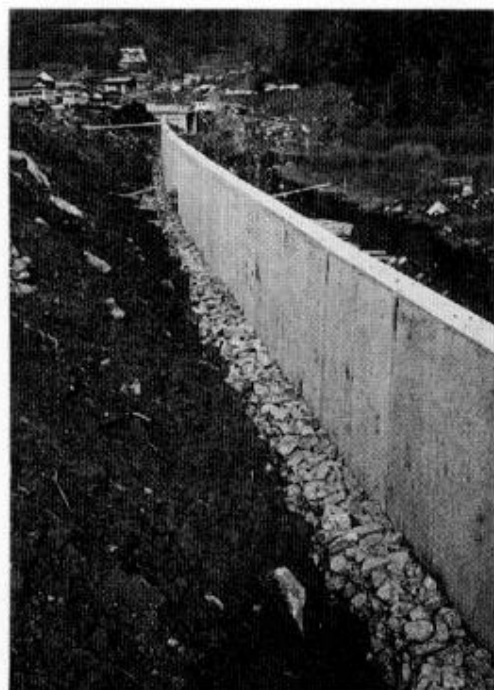
昭和44年5月 西泊トンネル開通



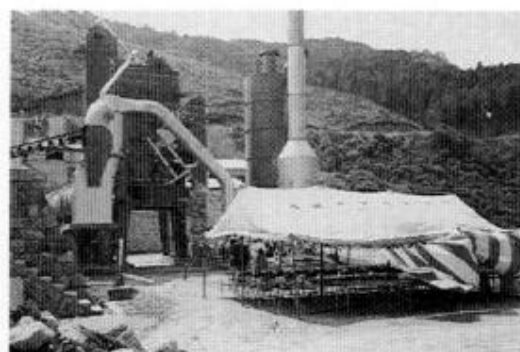
小ヶ倉堂茶屋線街路築造 (S.44)

昭和44年7月10日夜、県議会の池田辰巳議長が暗がりの路上で刺され死亡した。議長就任わずか4ヵ月後だった。事件は迷宮入りのまま時効が成立したが、佐藤県政を支える議長が刺されたことで県民に暗い影をなげかけた。

昭和45年2月22日、長崎県知事選挙が行われ、絶対優勢を伝えられた現職の佐藤勝也氏の四選を阻み久保勘一氏が当選した。この年10月、谷村正一支配人が惜しまれて退職した。



小ヶ倉堂茶屋線街路築造 (S.44)



小江原アスファルトプラント (S.45)

昭和44年6月 長崎駅前高架広場完成

昭和44年9月 長崎国体

昭和45年7月 国鉄浦上線長崎トンネル開通

高田 隆 昭和42.7入社 昭和46.3.28生

第四章

流動する時代に対応

制度の改革とコンピュータの導入

建園記念の伊

昭和45年、合併後の当園は開園50周年を記念し、新工場の他に「建園記念の碑」を建立し、これは長崎県出身で建園者の第一人者となつた土井源三氏の作。台座の石は京都府の土本ますみ校長から寄贈された「産石」を用い、鹿野氏が彫刻を彫り上げて完成した。

長崎県知事秋沢アツボと鹿野組の歴史は、特に数回にわたるとてめが著く、その記念事業として「詠いで来た」とは嬉しいことだ。

この年、累計の売上高を5,000,000円に増やした。

九州庁と長崎県庁、政府の会館に鹿野組の、取締役は吉永重敏、経理はが就任した。

（山梨県三島産物18,000,000円、長野義次300,000円、福九州産物290,000円、宮城産物250,000円、長野産物1,000円、吉永産物60,000円、徳祥100,000円、松本産物各社20,000円）

新社員の増工

昭和47年2月、新社員（20名）の増設に着手した。社員は水産の20名で、新築の倉庫と工場に、全長



制度の改革と コンピュータの導入

建国雄姿の像

昭和45年、長崎電気軌道(株)は開業50周年を記念し、県立美術館に「建国雄姿の像」を建立した。像は長崎県出身で彫刻界の第一人者だった北村西望氏の作。台座の石は玉木高校の玉木ますみ校長から寄贈された「風頭石」を用い、星野組が製作を担当して完成した。

長崎電気軌道(株)の歴史と星野組の歴史は、特に戦後以降重なるところが多く、その記念事業にお手伝いできたことは嬉しいことだった。

この年、星野組は資本金を5,000,000円に増資した。

昭和46年(1971)には合名会社から株式会社へ組織変更し、資本金を20,000,000円とした。新体制は星野義次が代表取締役となり常務取締役に藤沢九州生と宮原増幸、取締役会長に星野義徳、取締役に吉永重義、堤祥一が就任した。

(出資金三星産業19,000,000円、星野義次300,000円、藤沢九州生250,000円、宮原増幸250,000円、星野義徳50,000円、吉永重義50,000円、堤祥一50,000円、監査役谷村靖二50,000円)

新社屋の竣工

昭和47年2月、新社屋(現社屋)の建設に着手した。旧社屋は木造の2階建てで、両脇に倉庫と工事部詰所、会議



路上混合スタビ・神の島 (S.47)

室を配したものだ。手狭になったので、(株)建友社建築設計事務所の設計で、鉄筋コンクリート四階建てを作ることにした。

この建設工事を語るとき、当時を知る人は一様に星野義徳会長が毎日作業に立合って注文をつけていた様子を懐かしく思い出すと言う。若くして倒れ、歩くのにも杖が必要だったが、会長はその杖の象牙や龜甲、金の細工に凝るという粋人だった。翌年6月には関係者多数を招き、竣工祝賀会を盛大に催した。

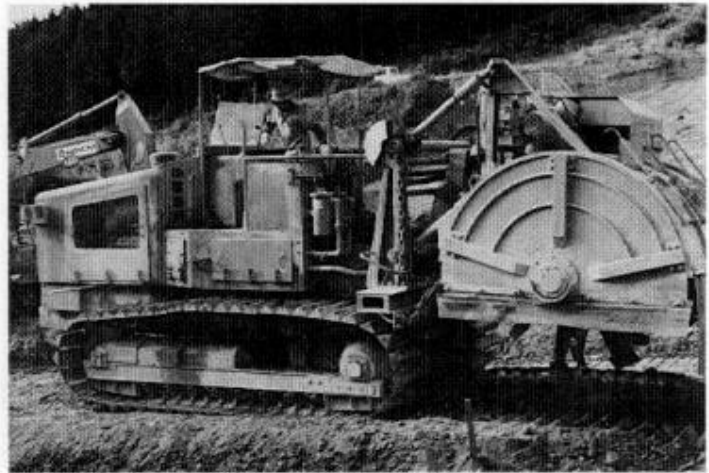
オイルショックで貴重な体験

昭和48年におきたイラン、イラクによる第4次中東戦争は、世界的オイル恐慌に発展した。日本においても、ト

イレットペーパーの買占め、ガソリンの高騰と品不足で深刻な問題となった。建設資材は軒並み値上がりし、セメントは買いたくても手に入らないという状態が続いた。ものの売り惜しみや便乗値上げも横行した。

幸い星野組は長年にわたり取引の業者は一定していたので、優先的に納品してくれることが数多くあった。彼らの協力を得て被害を少なくすることができたのは、永年良好な関係を続けてきたお陰だった。当社と下請け業者、資材業者は決して上下関係ではなく、お互いに助け合い盛り立て合うパートナーだと、協力業者に尊大な態度をとりがちな元請の立場を厳に戒めた先輩たちの教訓をまのあたりにした。

インフレが進み、日本の経済を脅か



路上安定処理スタビライザー (S.52)

途中で、受注時点の見積もり（落札値）と完成時点の計上費に大きな格差が生じ、長期に亘る工事受注に危機感が高まった。こうした最中、物価のスライド制が導入されて景気の落ち込み防止が図られたが、業界では生コンや大型資材を必要とする工事は大きなリスクを背負うことになり、多くの業者はこうした工事の受注を極力避けた。

オイルショックがもたらした日本経済への影響は、計り知れない大きなものだった。

65歳定年を制度化

昭和49年、他社、他業界に先駆けて65歳定年を制度化した。65歳定年制導入は谷村正一から役員会に提案された。当時ほとんどの企業は55歳定年制

だった。定年を延長することは企業にとって、給与面や役職など問題を生じることになる。しかし、星野組に生涯を託す従業員に、安心して働ける場所を提供することは大きな意味を持つ、と役員会は判断した。

近年、労働力不足から定年制の延長が叫ばれているが、星野組が採った制度とは本質的に意味合いを異にする。厳しい中にも、従業員を大切にする姿勢は星野組に一貫して流れる基本方針だ。この考えは更に進められ、定年を迎えてもまだ十分に働ける人、働く意志のある人には期限を延長する制度も設けられている。



● 厄入り還暦パーティーを実施

● 毎年6月1日小屋入りの日、星睦会（星野グループ）主催で厄入り還暦のパーティーが催される。当日早朝から厄入り還暦を迎える各社の従業員は、世話役に付き添われ諏訪神社でお祓いを受ける。

● その後、温泉地などに移動し、夕方
のパーティまでゆっくりと保養する。
この制度も毎年行われ続けている。先
の定年制度と共に、従業員を大切にす
る基本姿勢として今後も続けられるだ
ろう。

● コンピュータ自社

● 総合システム開発

● 将来進むであろう事務合理化に備え
コンピュータを導入し、社員によるシ

ステム研究に取り掛かったのは昭和45
年頃だった。委託計算業務を手始め
に、事務の改善を進めながら昭和48年
にはコンピュータの自社導入を決定し
た。翌年 IBM システム3モデル6型を
導入した。

● 昭和52年には工事原価、給与、経理、
社会保険、源泉税など、社内の経営総
合システムを自社開発、稼働を始め
た。地場建設業では県下で一番早い対
応だった。現在コンピュータ部門は自
社業務だけではなく、ソフト開発、委
託業務を行う㈱サンセイクリエイトと
して独立企業となっている。

● 昭和47年 8月31日 増資

● 資本金25,000,000円



三景台防災工事 (S.49)

社員持ち株制度を実施

昭和47年以降、ほとんどの星野組社員は自社株を持っている。株主総会に出席し、決算報告を聞き、配当を受けることで、社員各々が会社経営の意識と自覚を持つことを目的としている。

業績が悪いときはお互いに反省し、良いときは共に喜び合う共同体としての意識を作り上げている。社員持株制度は現在、持株会に発展し現在に至っている。

- 昭和46 長崎国道岩松地区舗装修繕
- 昭和46 太田和別当線舗装開始
- 昭和46 東望の浜埋立道路
- 昭和46 出島西山線街路築造宮ノ下開始
- 昭和46 賑橋～諏訪神社下拡幅
- 昭和47 小江原第2団地水路／道路
- 昭和47 長崎国道田中地区舗装修繕
- 昭和48 長崎国道本河内地区舗装修繕

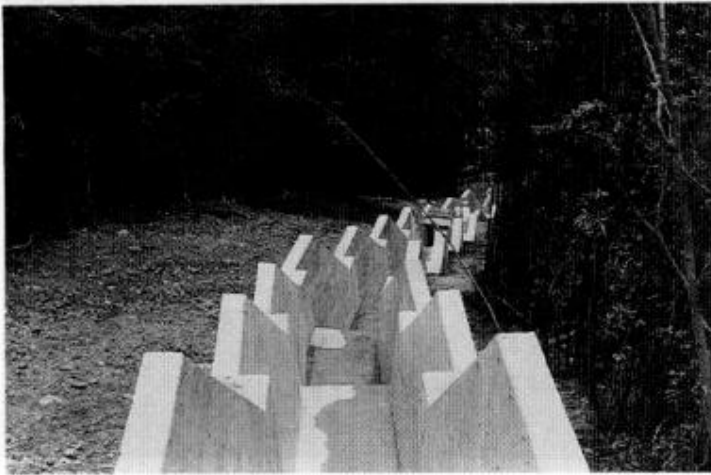
- 昭和48 小江原線道路改良
- 昭和48 三景台団地造成開始
- 昭和48 三川線道路改良
- 昭和49 長崎文教地区舗装修繕
- 昭和49 古河町上戸町線街路築造開始
- 昭和49 中央卸売市場敷地整備
- 昭和49 東長崎縦貫線道路改良
- 昭和49 西山団地三川側取付道路
- 昭和49 東望の浜埋立

昭和50年 7月26日 増資

資本金30,000,000円

三景台団地の造成

弥生町の三景台は丸重エンタープライズが遊園地として開発したが、業績が振るわず倒産し、その後広い敷地は荒れ放題になっていた。京王帝都電鉄がこれを入手し、団地として造成することになった。星野組は開発申請の時



三景台雨水排水路工事

点から協力し、昭和48年に団地造成工事は認可された。工事発注者は京王不動産だった。大型団地だったので開発許可条件は法面防災工事、水路の付替、将来へ備えて国道への污水幹線布設など多岐にわたり、まずこれらの工事から着手した。

昭和51年7月4日深夜、残念な事件が発生した。上小島で国道への污水管のマンホール施工中の死亡事故だ。

思案橋方向より走ってきたバイクが、ガードマンの指示を振り切りバリアードを突破し、マンホールから半身を出していた作業員松島喜代治（50歳）他一名に激突し逃走した。松島は即死、他の一人も重傷を負った。数時間後、犯人は自首し逮捕されたが無免許の上、飲酒運転だったので怖くなっ

て逃げたということだった。

星野組は粗造成完成后に三景台団地造成工事から撤退したが、数年後高級団地として生まれ変わった。

西泊トンネルの崖崩れ

昭和52年、本社で会議中、長崎市土木部管理課長中浜伝之氏より社長へ電話が入った。西泊トンネルの出口付近で崖崩れがあり人が生き埋めになっているかもしれない、至急救助に向かって欲しいとの要請だった。

会議を即刻中止し現場に到着すると、血や泥にまみれた眼鏡や靴が落ちていた。しかし、土砂を取り除こうにも大量なので人力では間に合わない。そこで造成工事をしていた三景台から大型のパワーショベルを持ってくるこ



時津8工区

とになった。この重機は通常道路を自走することは禁止されていたが、緊急事態と言うことで特別に許可されたばかりか、白バイ先導で運び作業に取り掛かった。

幸い人は埋まっていなかった。這い出した被害者は重傷のまま自宅に帰っていた。中浜課長は星野組が直営形式の会社であることを知っていたので、すぐさま行動がとれると思い星野組へ救援を依頼したのだった。一般に下請管理形式の会社は指揮系統や費用決定の面で、迅速な対応が出来ないのは当然だ。緊急災害への対応には直営形式が向いている。半面、直営形式は大きな組織にはなりにくい。この二面をどこまで追及できるかが星野組が抱えている大きなテーマだった。



時津8工区国道舗装

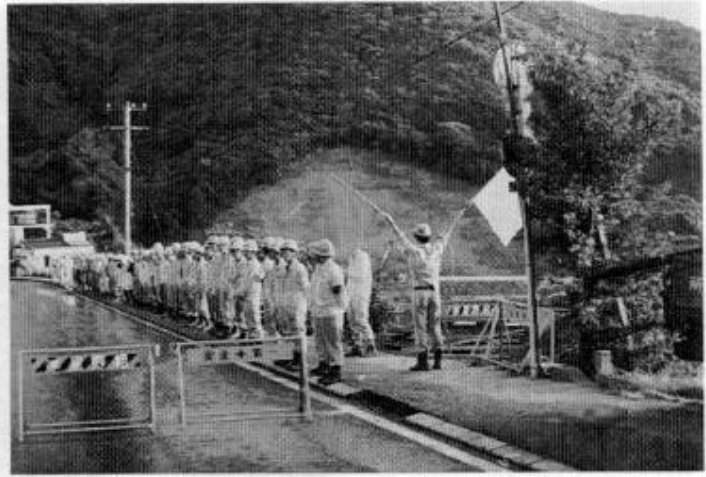
直営形式の強みは、長崎大水害の際にも発揮されることになった。

昭和53年から56年の時期は、今後21世紀までは日本経済は低迷し公共投資の増大はないと経済評論家達が口を揃えて語るほど厳しい環境が続いた。少ない仕事からどうやって利益を上げるか、それが課題だった。合理化というより、否応なしの経費削減の中、全員が智恵を絞った。

長崎の場合、昭和57年の長崎大水害によって災害復旧工事という特需が訪れた。全国的にも数年後には事態は徐々に好転していった。教訓は経済評論家の言葉を鵜のみにしてはならない。力をあわせ、希望をもって努力すること、決して悲観的な目で将来を見ないこと。私達の仕事を必要とする人はど



長崎大水害日見国道決壊 (S.57)



長崎大水害日見国道開通 (S.57)

んな時にもいる。

昭和57年、大黒町と旭町を結ぶ全長523mの旭大橋が開通した。星野組は旭町側のスロープ、大黒町側の平面街路を施工した。工事の完成により浦上川の最下流の橋は旭大橋になり、稲佐橋と立体交差の交通混雑が緩和された。

長崎大水害

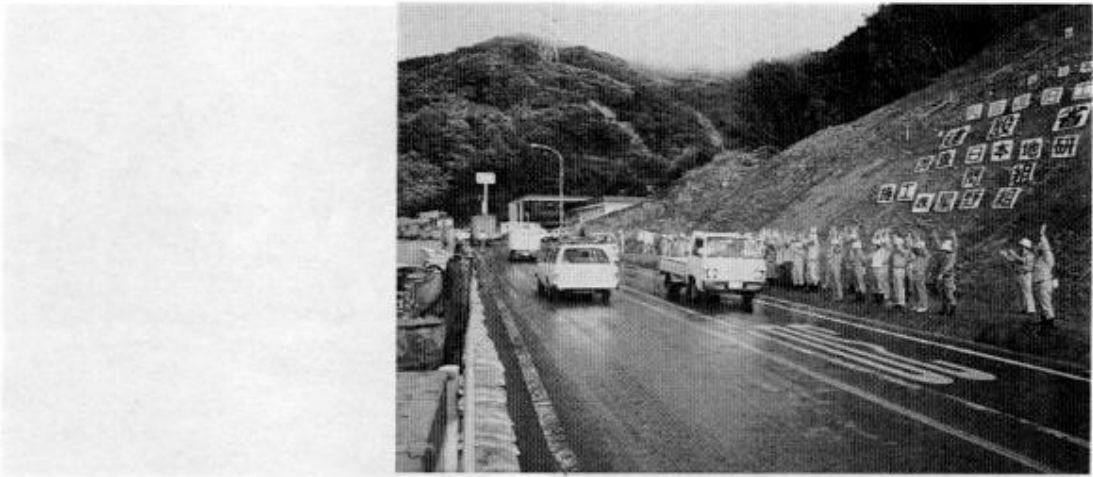
昭和57年7月23日(1982)、長崎市は19時～22時の降水量315mmという集中豪雨に襲われた。建設省長崎工事事務所(針貝武紀所長)と日本道路公団長崎バイパス管理事務所は、この豪雨を事前にレーダーで予知、星野組に災害出動待機の指示を出していた。

しかし、災害の報が入りだし出動の

指示が出ても、道路を濁流が川のように流れ、危険で作業は思うように進まなかった。電話、電気、ガス、水道、国鉄、バス、電車がストップし、都市機能は麻痺した。崖崩れ、地滑りによって道路は寸断され、交通不能になった。本社隣りの宝町立体交差は完全に水没してプールのようにになっていた。

混乱の夜が明けると、信じられない程の被害が明らかになった。浦上川、中島川、八郎川は氾濫し、街路は泥に埋まり、橋は流されていた。

長崎は袋小路都市といわれ、市内に入る幹線道路は3路線しかない。その内、国道34号、長崎バイパスが交通不能になっていた。国道34号は御手水、文明堂園手前、芒塚で決壊、日見トンネル前、芒塚で山崩れのため400mが



長崎大水害日見国道開通 (S.57)

土砂に埋まっていた。国道206号だけが辛うじて小型車の通行が可能だったが、車が渋滞し長崎は陸の孤島となっていた。他県からの救援物資も資材も入らない事態が続き、国道34号と長崎バイパスの復旧は急務だった。

星野組は建設省、日本道路公団の要請に応え、不眠不休の復旧作業の結果、長崎バイパスは26日に一車線開通、28日には二車線開通にこぎつけた。国道34号の復旧は困難をきわめたが、当局の予定では工期3ヵ月間だったが、針貝所長、一ノ瀬監督官の指揮の下、実際には1ヵ月足らずで開通させている(8月20日開通)。

作業は24時間完全就労で、交代も通勤時間が惜しいと現場事務所で仮眠を取り、家族が着替えを届けるという徹

底した体制を取り続けた。予想を越えた早期完成に「突貫工事の星野組」の名がついた所以だ。この国道開通により、市内の麻痺していた交通と災害復旧が短期間で可能になった。

歴史にはのらない星野組の誇りとするところだ。建設省と日本道路公団からこの功績に対して感謝状をいただき、芒塚の記念碑に星野組の名が刻まれた。

長崎大水害の被害は甚大で、災害復旧工事も長崎市内の建設業者だけではとても処理できないほど発注された。公共工事は本来指名競争入札が原則だ。指名業者の応札した金額のうち、最低でかつ予定額以内の業者が落札者となる。ところが件数が多く、緊急を要求されたこの時、工事箇所へ通じる

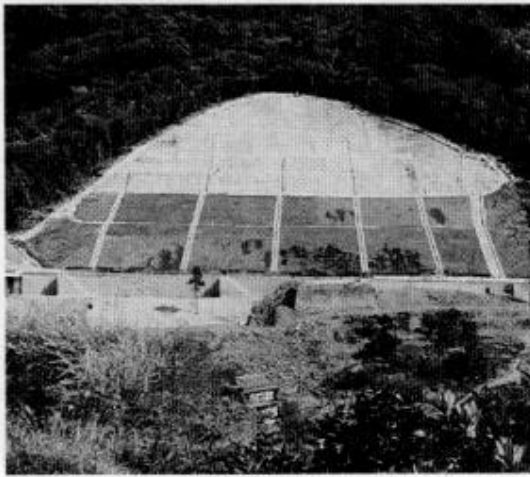
昭和57年1月 旭大橋開通

昭和57年7月 長崎大水害

昭和57年長崎自動車道(大村~多良見)開通

昭和58年10月 矢上団地第1期工事完成

昭和58年10月 長崎市の人口450,411人



長崎大水害復旧工事・国道34号日見

道路が壊れていたり、重機械が使えない工事には辞退者が続出した。そのため県下各地の業者と、県外大手業者への応援要請がなされた。

長崎市の建設業界も、辞退者が出ないよう助け合って工事の消化に努めた。各社が赤字覚悟で受注施工した工事量は相当の比率を占めた。

応急災害復旧工事の後、引き続き本格的な年次計画による工事が続々と発注され、星野組の仕事量も、業界の能力もその限界を超えた。

長崎大水害の被害

死者行方不明者 299人

重軽傷者 805人

家屋の全壊 584戸

半壊 954戸



崎戸町平島・重機陸揚げ

破損・浸水 41,012戸

道路の損壊 4,969箇所

橋梁破損・流失 116箇所

崖崩れ 4,306箇所

被災車数 1,560台(内360台は川の中から発見)

被害総額 3,153億円

昭和59年10月26日 増資

資本金40,000,000円

崎戸町平島の工事

崎戸町平島は西彼半島西北に位置のし、4kmを隔てて五島有川町に相對している一孤島だ。昭和59年、この島の外周を巡る循環道路（灯台西南風泊線）が発注された時、指名を受けた業者は当社も含め正直なところ、尻込みをした。しかし計画が長期にわたること、以前に平島の舗装をした実績の自

昭和59年 2月 市道上小島高丘線完成

昭和59年 5月 都市計画道路岩屋滑石線完成

昭和59年10月 市道入船町平戸小屋線開通

昭和59年1月1日 谷村隆三営業部長就任、同年7月25日、原口末丸と共に取締役就任。



崎戸町平島道路改良 (H.3)



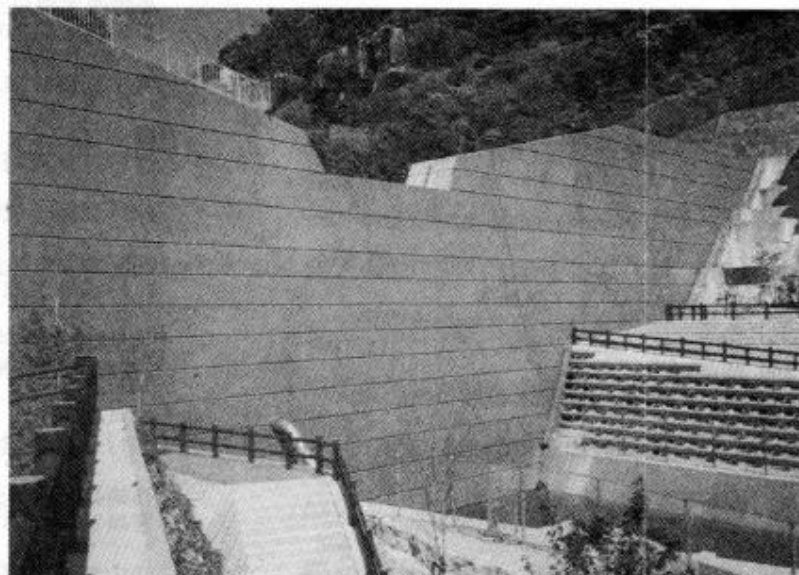
崎戸町平島宮崎浦急傾斜 (S.63)

信もあって当社が受注した。

当初2～3年は赤字だったが、辛抱強く努力を重ね、以後は黒字に転じた。

更に昭和58年には、長崎県大瀬戸土木

事務所による宮崎浦地区急傾斜崩壊対策事業や、昭和61年には浦川荒廃砂防ダムの継続事業が始まった。それらの事業も併せて星野組が受注した。



崎戸町平島 浦川砂防ダム (H.2)

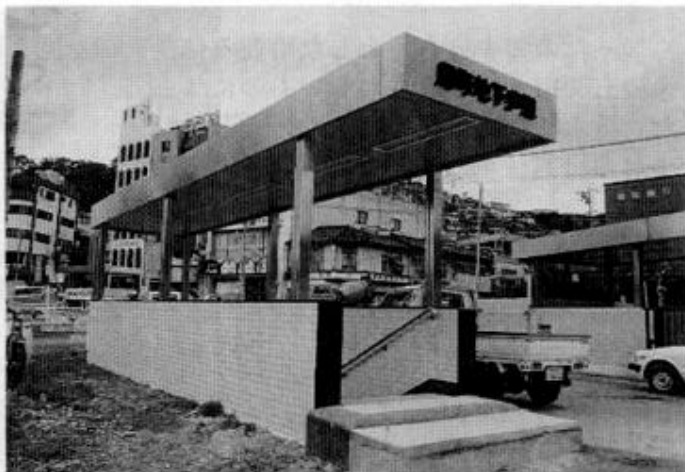
崎戸町平島での主な工事

単位千円

S53 崎戸町	長崎県大瀬戸土木事務所 宮崎浦地区急傾斜地崩壊対策工事(1)	26,850
(町)灯台西南風泊線道路改良工事	宮崎浦地区急傾斜地崩壊対策工事(2)	10,250
		59,100
	長崎県大瀬戸土木事務所 宮崎浦地区急傾斜地崩壊対策工事(1)	17,390
(町)灯台西南風泊線道路改良工事(2)	宮崎浦地区急傾斜地崩壊対策工事(2)	26,670
	浦川荒廃砂防工事(第1期)	65,600
S54 崎戸町	S62 崎戸町	
(町)灯台西南風泊線道路改良工事	(町)灯台南風泊線道路改良工事	76,120
	長崎県大瀬戸土木事務所 宮崎浦地区急傾斜地崩壊対策工事	54,618
S55 崎戸町	浦川荒廃砂防工事(第2期)	132,400
(町)灯台西南風泊線(C)災害復旧工事	S63 崎戸町	
	(町)灯台南風泊線道路改良工事	84,120
(町)灯台西南風泊線特改四種工事	長崎県大瀬戸土木事務所 宮崎浦地区急傾斜地崩壊対策工事	37,850
	浦川荒廃砂防工事(第3期)	133,041
(町)灯台西南風泊線特改四種工事	H01 崎戸町	
	(町)灯台西南風泊線特改四種工事	18,019
S56 崎戸町	(町)灯台南風泊線道路改良工事	45,166
(町)灯台西南風泊線道路改良工事	長崎県大瀬戸土木事務所 宮崎浦地区急傾斜地崩壊対策工事	36,296
	浦川荒廃砂防工事(第4期)	84,340
(町)灯台西南風泊線道路改良工事	H02 崎戸町	
	(町)灯台西南風泊線特改四種工事	14,409
S57 崎戸町	(町)灯台南風泊線道路改良工事	33,417
(町)灯台西南風泊線特改四種工事	長崎県大瀬戸土木事務所 宮崎浦地区急傾斜地崩壊対策工事	32,447
	長崎県大瀬戸土木事務所 浦地区災害関連緊急地滑り対策工事	47,000
(町)灯台西南風泊線特改四種工事	H03 崎戸町	
S58 崎戸町	(町)灯台南風泊線道路改良工事	64,500
(町)灯台西南風泊線道路改良工事	長崎県大瀬戸土木事務所 宮崎浦地区急傾斜地崩壊対策工事	30,200
	向山地区急傾斜地崩壊対策工事	21,100
長崎県大瀬戸土木事務所 宮崎浦地区急傾斜地崩壊対策工事		
S59 崎戸町		
(町)灯台西南風泊線特改四種工事		
(町)灯台南風泊線道路改良工事		
長崎県大瀬戸土木事務所 宮崎浦地区急傾斜地崩壊対策工事		
S60 崎戸町		
(町)灯台南風泊線道路改良工事		



崎戸町平島生コンプラント (H.3)



馬町地下歩道 (S.54)

昭和60年8月9日、星野組取締役会長・星野義徳が療養中の長崎市成人病センターで死亡した。行年80歳だった。仕事に厳しい一面、若い頃より書画骨董に親しみ、特に刀剣についての見識が高く、鑑定依頼に訪れる人も多かった。亡くなる前の年にチエ子夫人を亡くされ、続いての訃報だった。

戦前戦後と、ステッキをついて歩かれる氏と、仲よく付き添うチエ子夫人を知る人は、悲しみの中にもつれ添う二人を思い、何かしら心和む因縁を感じた。

昭和60年11月30日 増資

資本金45,000,000円

馬町～蛍茶屋間 ＝長崎らしい町並み

昭和50年代初めから建設省により国道34号（諏訪神社下馬町から蛍茶屋）の拡幅工事がすすめられた。延長約1Kmのこの区間は片道1車線しかない上、交通量が多く渋滞が激しい箇所だった。最初に星野組が頂いた工事は松尾建設(株)との企業体（崎陽建設共同企業体）受注で馬町交差点地下歩道工事だった。その後、新大工、中川、蛍茶屋と長崎電気軌道(株)の軌道移設も含め拡幅改良工事を施工した。昭和63年馬町蛍茶屋間は完成し、初めて採用された十字架を模したセンターポールは長崎らしいと好評で景観を一新した。電線が地下埋設のケーブルボックスに入り、道路を横断する軌道用電線がな

昭和60年 3月 東長崎東望橋完成

昭和60年10月 小江小浦トンネル開通

昭和60年11月 矢上大橋有料道路開通

くなったのですっきりとした町並みは長崎の玄関口としてふさわしいものになった。活水学院楠光寮、シーボルト記念館、小ヶ倉公営住宅、山里小学校と並び第2

回都市景観建築賞を受賞した。

昭和61年 8月30日 増資
資本金 50,000,000円

馬町螢茶屋間の主な工事

(千円)

S52 建設省九地建長崎工事 長崎 34号馬町交差点地下歩道函渠工事	25,320	S60 建設省九地建長崎工事 長崎 34号中川地区構造物(1)工事	58,500
S53 建設省九地建長崎工事 長崎 34号馬町交差点地下歩道函渠工事	36,140	S60 建設省九地建長崎工事 長崎 34号馬町地区舗装工事	22,270
S54 建設省九地建長崎工事 長崎 34号馬町交差点地下歩道函渠工事	102,560	S60 長崎電気軌道(株) 馬町新大工間軌道移設工事	87,200
S54 建設省九地建長崎工事 長崎 34号本河内防災工事	25,400	S61 建設省九地建長崎工事 長崎 34号中川地区構造物(3)工事	33,600
S55 建設省九地建長崎工事 長崎 34号鎮西橋拡幅外1件工事	35,320	S61 建設省九地建長崎工事 長崎 34号馬町地下歩道内装工事	21,900
S58 建設省九地建長崎工事 長崎 34号中川地区改築工事	53,500	S61 長崎電気軌道(株) 長崎 34号馬町地区軌道撤去及復旧工事	18,600
S58 建設省九地建長崎工事 長崎 34号馬町地下歩道内装工工事	12,000	S62 長崎電気軌道(株) 新中川～螢茶屋間軌道移設工事	311,400
S59 建設省九地建長崎工事 長崎 34号螢茶屋地区改良工事	44,100	S62 建設省九地建長崎工事 長崎 34号中川地区改築工事	71,710
S59 建設省九地建長崎工事 長崎 34号馬町交差点改築工事	50,500	S62 建設省九地建長崎工事 長崎 34号馬町交差点舗装他1件工事	50,800
S60 建設省九地建長崎工事 長崎 34号螢茶屋函渠工事	59,200	S63 長崎電気軌道(株) 新大工町～新中川町間軌道移設工事	180,000
		S63 建設省九地建長崎工事 長崎 34号新大工地区改築工事	88,000
		H01 建設省九地建長崎工事 長崎 34号本河内地区改築工事	67,970

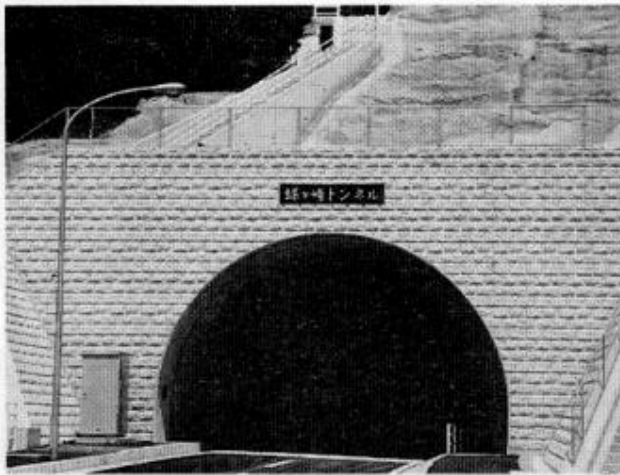
昭和61年棒島大橋開通

昭和61年星野憲治取締役就任

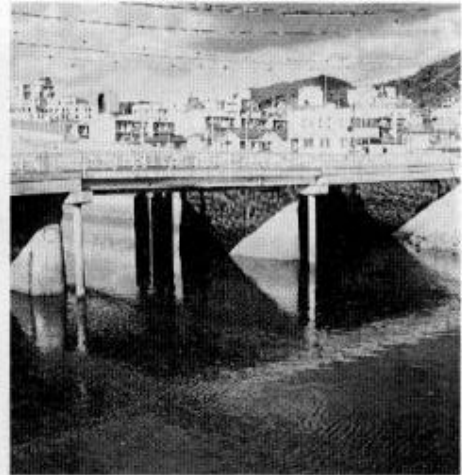
昭和61年三菱石炭鉱業高島礦業所閉山

昭和62年3月 鳴鼓トンネル開通

星野組の主要取引銀行は長崎の地元銀行である十八銀行一行で、これは戦前よりのことである。



蝶ヶ崎トンネル (H.1)



左岸側橋脚が沈下した竹岩橋 (S.63)

国道202号道路改良工事 (蝶ヶ崎トンネル) のこと

蝶ヶ崎トンネルは長崎市手熊町と式見町を結ぶ国道202号バイパスとして計画され、昭和63年2月22日に榑竹中土木と榑星野組の共同企業体で受注し、県下で初めてのナトム工法を用いた。

昔は、トンネル工事は大変危険な工事で命がけの作業だったので、今でも多くの迷信が残っている。例えば、トンネルは普通山を掘るのでお参りするのも山の神だ。

山の神は女だそうで、女は女を嫌うのだそうだ。だから、トンネル現場では落盤や湧水を恐れ、工事中は女性を坑内に入れない。ナトム工法ということで見学者が多く、中には女性も混じ

っていた。訳を話して入坑を遠慮願ったが、差別だとずいぶん怒られた。

当社にとって、本格的なトンネル工事は初めての経験だったが、土質に恵まれたことと、榑竹中土木関係者のご指導を受けながらの綿密な現場管理で、平成元年の末に無事完成した。

竹岩橋左岸橋脚の陥没

昭和63年、竹岩橋（星野組が昭和33年に架設）を、浦上川の河川改修工事に伴い再び施工することになった。川底を浚渫し、断面を下げるため橋台橋脚を補強する仕事だった。

本格的な施工前の仮設工事中の5月6日、大雨に見舞われ、左岸川の橋脚が突如傾くという事故が発生した。当社の施工に原因はないという結論が出さ



竹岩橋架替の為の仮設橋 (S.63)

れたが、交通量が多いところであり緊急な対応が求められた。

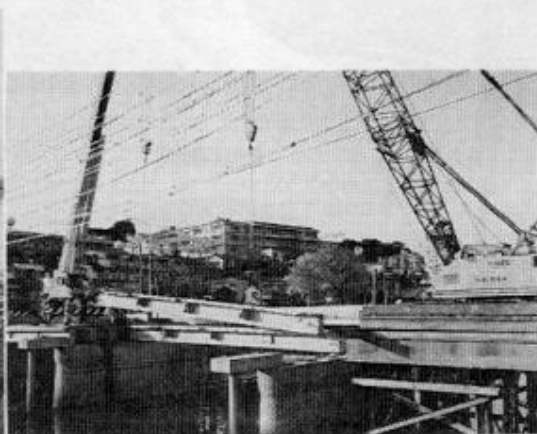
濁流と港から押し寄せるあびきのなかで、下流に鉄骨による仮設橋を架け、交通を迂回させての工事が行なわれた。原因調査に拠ると、

① 前年度、上流と下流が浚渫されていたため、浚渫していない竹岩橋の下部も自然と川底が下ががり、結果的に橋脚の基礎が支持力を失った。

② 今度の工事で川を半分締め切ったため、残り半分を流れる水量水速が増し川底の土砂を削った。

③ 長崎港のあびき現象で川底の洗掘が加速された。

④ 雨が続き水量が増し洗掘を加速



竹岩橋、上部桁撤去 (S.63)

した。

⑤ 稲佐橋～梁川橋は川幅が広く、あびき現象を和らげる緩衝地帯になっていたが、環境整備工事で浦上川右岸を埋立てて川幅が狭くなり、あびき現象の影響が川の上流まで強かつ早く現れた。

⑥ その他の要因が重なって起きたもの、と判断された。

当社にとっては、水の力の恐ろしさを痛感した工事だった。



矢上大橋有料道路



中島川激特賑橋～常盤橋間



国道207号舗装新設 (S.61)



芒塚砂防 (日見芒塚) (S.60.S.61)



中島川激特 (中央橋) 根継ぎ (S.63)



三重新長崎漁港修築 (S.61)



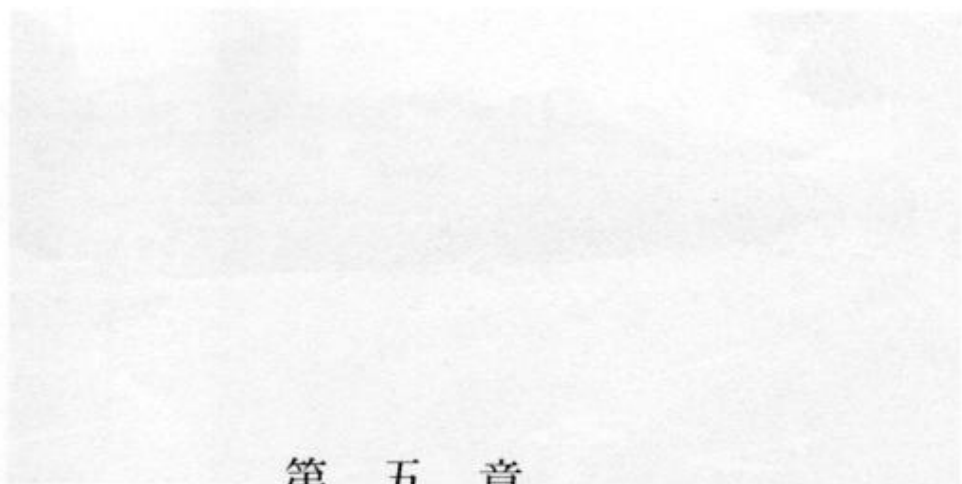
国道206号上岳舗設 (S.63)



常盤橋架替下部工事 (S.62)



NHK前軌道 (S.63)



第五章

21世紀を見据えて羽ばたく

平成を迎えて

秋篠野義次は、1974年の秋の激動で東証退場を余儀なくされ、倒産覚悟を遂げて紙屋の経営に復帰することを誓った。「この仕事は自分が受けたのではなく、経営陣の職員全員が受けたものだ」と語った。

平成元年7月21日、東野組代表取締役秋野義次が東京中の区北病院で死亡した。行年68歳だった。昭和59年秋、大腸癌が転移したため手術を受けた。その後、数ヶ月にわたる入院生活を繰り返していた。

秋野義次は社長の任に就いて以来、組織

の刷新と組織を再編した。下着で稼いだ利益を代わって、出た利益は皆に還元する安全管理に掛かる費用は償いまない。また仕事に同じでも、「役所の職工職責には責任をもち、こんな狭いな、出来不出来では驚かさない」とやり取りを怠らぬ深慮ぶを誇っていた。

平成2年7月27日、東野組代表取締役秋野に秋野健司、代表取締役秋野長に秋野隆平、常務取締役秋野隆三が就任した。

平成3年7月、十六会社三般産業の常務部門、企画部門は「梅サシセミナーエイト」として独立した。平成1年には16社連の経営までかかっている。



宝町交差点

平成を迎えて

星野義次黄綬褒賞受章の栄誉

故星野義次社長は平成元年の秋の叙勲で黄綬褒賞を受章したが、褒賞受章に際して披露の宴などを催すことを好まなかった。「この栄誉は自分が受けたのではなく、星野組の従業員全員が受けたものだ」と語った。

平成2年2月22日、星野組代表取締役星野義次が療養中の井上病院で死亡した。行年65歳だった。昭和63年秋、大腸癌が発見され撤去手術を受けた。その後、薬物療法での入退院を繰り返していた。

星野義次は社長になって以来、組織

の近代化と合理化を辛抱強く進めてきた。それまでの指導的な経営とは違う対話と調和を目指した。「皆で頑張っ
て利益を出そう。出た利益は皆に還元
する安全管理に掛かる費用は惜しまな
い」

また仕事に関しても、「役所の竣工検査には合格しても、こんな良くない出来栄では恥かしい」とやり直しを命じる潔癖さを持っていた。

平成2年2月27日、星野組代表取締役社長に星野憲司、代表取締役副社長に宮原増幸、常務取締役に谷村隆三が就任した。

平成2年7月、合名会社三星産業の電算部門、商事部門は「(有)サンセイクリエイト」として独立した。平成3年にはOA機器の販売もてがけている。



「旅博」ミニ出島

又、今後の環境問題・アメニティへの対応を考え「街緑美ながさき」を発足させて研究を開始した。

平成2年8月

長崎「旅」博覧会開幕

長崎「旅」博覧会を開催するとき、長崎市は重大な欠陥をもっていた。そのひとつは市内の道路網が貧弱で、すぐに渋滞を引き起こしてしまうことだった。国、県、市の周到な計画により、道路の拡幅事業、駐車場の建設がすすめられた。特に旅博メイン会場へつながる大波止小ヶ倉線（常盤町、松ヶ枝町）は海側に倉庫群が連なっていたが、旅博に間に合わせるため関係者の協力で短期間に用地問題は解決した。星野組はこの拡幅工事を施工した。完

成した道路は電車軌道を挟み1:3の変則4車線という珍しいもので話題になった。

労働時間の短縮

昭和63年4月から労働時間の短縮をはじめとする大幅な労働基準法の改正が行われた。星野組規模の建設業でも、従来の週48時間労働制から、平成3年3月には週46時間にしなければならないこととなった。当社はこの問題に積極的に取り組んだ。平成2年12月からは半年前から試験実施をしていた3ヵ月単位の「変形労働時間制」を実施し、週44時間以下を達成した。その結果年間休日数は80日となった。労働基準法の定める実施期日を大幅に早く、労働時間についても短縮を実現したた



崎戸町、保養施設ヴィラ浅間

め、社会的な反響は大きかった。一歩先を行くこの創意工夫に対し、労働基準協会、労働基準局より「ゆとり創造賞」の表彰をうけた。

労働時間短縮の問題は、労働の効率化を同時に達成しなければ重大なマイナス要因となる。特に労働集約型の建設業においてはいちじるしい痛手をうける。また労働時間の減少にともない、給与の減少という事態は避けなければならない。このような問題を解決しながら、平成3年6月には1ヵ月単位の「変形労働時間制」と移行し、年間休日数は85日とした。

ヴィラ浅間

平成3年、崎戸町蠟の浦に約120坪の土地を購入し、延べ50坪の保養施設を建設した。この施設は星野組職員だけではなく、関連会社の利用も考慮し計画した。中小企業は大手企業と比べどうしても福利厚生面で劣りがちになる。労働条件、現場環境の改善が遅れれば、いい人材が集らない時代になった。人がいなければ企業の将来はない。星野組は魅力ある企業を目指して今後も充実を図っていく。

会社概要

星野組

本社所在地 長崎市宝町4番30号

資料編

設立年月日 昭和48年6月28日

資本金 株式会社星野組 星野組 三浦大義



とび土工・コンクリート工事業

タイタニわか・ブラス工事業

社訓と経営理念、スローガン

一、誠実

一、信念

一、実行

経営理念

私達は仕事に全能力を投じ、ひたすら地域に密着した姿勢のもと、企業繁栄の道を切り拓き、全社員の豊かさを目指す同志の結合体である。

スローガン 『皆で明るく豊かな会社づくり』

1. 誠実な心と奉仕の精神で行動する
2. 創意と工夫と信念をもち、積極的に仕事に取り組む
3. 高い技術と熱意で信用を築き、地域の振興に寄与する
4. 常に喜びを分かちあい、感謝し社業の発展に努める
5. 正しい利潤意識をもち、計画し実行する

資本金の推移

合名会社 星野組

昭和13年	50,000円
昭和22年	500,000円
昭和24年	1,000,000円
昭和29年	1,500,000円
昭和33年	2,000,000円
昭和42年	3,000,000円
昭和45年	5,000,000円

株式会社 星野組

昭和46年	20,000,000円
昭和47年	25,000,000円
昭和50年	30,000,000円
昭和59年	40,000,000円
昭和60年	45,000,000円
昭和61年	50,000,000円
平成5年	70,000,000円
平成7年	100,000,000円

工 事 経 歴

(昭和50年以降主要工事)

年度	発注者	工事名	工事金(千円)	工事場所
S50	長崎県大瀬戸土木	(県)太田和港別当線舗装新設	14,022	西彼西海町
S50	長崎県大瀬戸土木	(県)太田和港別当線舗装新設	23,905	西彼西海町
S50	建設省長崎工事	長崎文教地区舗裝修繕工事外1件	20,430	長崎市文教町
S50	長崎県長崎土木	(国)206号線舗装新設	33,730	長崎市
S50	(株)長崎西海建設	日見大曲宅地造成	10,077	長崎市
S50	金子建設(株)	大西海農協西彼北部農業管理センター敷地	10,800	西彼西海町
S50	長崎市土木部道路建設	(市)小江原線道路改良(1工区)	23,040	長崎市小江原町
S50	建設省長崎工事	長崎彼杵大橋側道橋工事外1件	24,730	東彼杵郡彼杵町
S50	長崎市下水道部	田中町埋立地排水路整備	20,664	長崎市田中町
S50	長崎県長崎土木	3.5.127古河町上戸町線道路舗装	58,405	長崎市
S50	日本道路公団福岡管理局	長崎バイパス盛土法面災害復旧	13,649	長崎市
S50	京王不動産	汚水管理設工事国道324号及び市道	109,000	長崎市正覚寺~三景台
S50	(株)長崎土建工業所	西山団地造成(第3工区)	90,399	長崎市西山町
S50	長崎県長崎耕地事務所	出津地区基幹農道舗装	12,400	西彼外海町出津
S50	長崎県長崎土木	(国)251号線舗装新設	15,140	長崎市
S50	(株)長崎上滝建設	長崎漁港改築(第15工区)	18,454	長崎市
S50	長崎県大瀬戸土木	(県)太田和港別当線舗装新設	22,572	西彼西海町
S50	長崎市土木部道路建設	(市)小江原線道路改良(1工区)	37,626	長崎市小江原町
S50	長崎市土木部道路建設	(市)小江原線道路改良(2工区)	26,574	長崎市
S50	建設省長崎工事	長崎34号多良見地区法面保護(2)	26,950	西彼多良見町
S50	西彼町	喰場地区舗装	10,336	西彼西彼町喰場
S51	長崎市水道局	山里ポンプ場敷地整地工事	12,202	長崎市山里町
S51	長崎県臨海開発局	長崎漁港修築(3工区)	26,765	長崎市三重
S51	長崎県大瀬戸土木	(国)202号線舗装新設	10,120	長崎市
S51	(株)西海興業	長崎漁港修築(5工区)橋面舗装仮設道	11,200	長崎市三重町
S51	日本道路(株)	宿地区舗裝修繕工事	19,660	長崎市宿町
S51	長崎市下水道部	医大付近(1)φ250耗污水管布設	12,108	長崎市坂本町
S51	長崎県大瀬戸土木	(県)太田和港別当線舗装新設	22,612	西彼西海町
S51	京王不動産	地区外雨水排水工事	60,000	長崎市三景台
S51	長崎市土木部道路建設	式見第41号線道路改良第3工区	46,224	長崎市
S51	長崎県長崎土木	3.5.127古河町上戸線道路舗装	62,803	長崎市古河町
S51	西日本菱重興産(株)	西山第2排水槽築造工事	16,105	長崎市西山町

- S51 大島町 大島中戸線特四工事 14,100 西彼大島町
- S51 長崎市土木部道路建設 (市)三川線道路改良 12,978 長崎市
- S51 京王不動産 三景台土工事 172,000 長崎市三景台
- S51 長崎県長崎土木 (国)251号線舗装新設 19,762 長崎市戸石新旧251
- S51 長崎県長崎土木 (主)諫早時津線特改四種 14,094 西彼多良見町
- S51 第一道路サービス 長崎バイパス防音壁設置工事 13,935 長崎市
- S52 星野組東急建設JV 三景台土地土工事(第2期)石積工事 24,561 長崎市三景台
- S51 長崎県長崎土木 (国)206号線舗装新設 13,569 長崎市赤迫町
- S51 京王不動産 三景台 No. 33三景台土地土工工事(2) 169,413 長崎市三景台
- S51 京王不動産 地区外雨水排水工事設計変更 13,000 長崎市三景台
- S52 (株)長崎土建工業所 西山団地造成(第3工区) 37,331 長崎市西山町
- S52 長崎電気軌道(株) 住吉～赤迫間軌道整備 15,500 長崎市住吉～赤迫L320
- S52 長崎県大瀬戸土木 (県)太田和別当線舗装新設 18,190 西彼西海町木場
- S52 長崎市交通対策部 三川町第6号線歩道新設 15,144 長崎市三川町
- S52 長崎県大瀬戸土木 (県)太田和港別当線舗装新設 14,932 西彼西海町清水
- S52 長崎市土木部道路建設 (市)小江原線道路改良 55,200 長崎市小江原町
- S52 星野組東急建設JV 三景台土地土工小工事 18,078 長崎市三景台
- S52 西日本菱重興産(株) (市)立神西泊線道路改良 64,330 長崎市西泊トンネル先
- S52 長崎市交通対策部 (市)八千代町宝町線歩道新設 11,234 長崎市西部瓦斯裏通り
- S52 長崎市土木部道路建設 式見第41号線道路改良(1工区) 38,062 長崎市
- S52 長崎県長崎土木 (主)諫早時津線特改四種 18,087 西彼多良見町先木床
- S52 建設省長崎工事 長崎興善地区舗裝修繕工事 38,800 長崎市
- S52 長崎市土地開発公社 西山団地道路舗装(A工区) 57,703 長崎市西山町
- S52 京王不動産 長崎三景台土地 No. 36岩盤破碎工事 24,000 長崎市三景台
- S52 建設省長崎工事 長崎桜町地区舗裝修繕工事 13,200 長崎市桜町
- S52 長崎県長崎土木 式見ダム土捨場(1工区) 48,100 長崎市
- S52 増田建設工業(株) 横尾団地宅地造成5工区 16,552 長崎市横尾町
- S52 長崎市下水道部 坂本町φ250、200耗污水管布設 24,565 長崎市坂本町
- S52 長崎県長崎土木 (国)202号線外3線交通安全施設整備 17,042 長崎市
- S52 長崎県長崎土木 (国)202号線舗装補修 31,784 長崎市稲佐町水の浦町
- S52 長崎県長崎土木 3.5.125大波止小ヶ倉線道路改良 59,600 長崎市
- S52 大島町 大島中戸線特四工事 10,405 西彼大島町
- S52 三基興業(株) (主)長崎野母港線道路改良 18,145 長崎市
- S52 長崎電気軌道(株) 長崎市中川地区軌道敷舗裝修繕工事 14,289 長崎市中川
- S52 建設省長崎工事 長崎34号馬町交差点地下歩道函渠工事 25,320 長崎市馬町
- S52 長崎県住宅供給公社 女の都連戸住宅地造成 11,497 長崎市女の都
- S52 長崎市土木部道路建設 小江原町第40号線道路改良 14,250 長崎市

- S52 長崎県長崎土木 (国)202号線舗装補修 19,208 長崎市
- S52 長崎電気軌道(株) (国)202号線電車軌道敷内舗装補修 11,545 長崎市
- S52 長崎県長崎土木 (国)202号線道路改良(鮑の浦) 14,915 長崎市鮑の浦町
- S52 京王不動産 三景台 No. 38 法面保護工並びに地下排水 37,000 長崎市三景台
- S52 長崎県住宅供給公社 横尾団地道路舗装 32,227 長崎市横尾町
- S52 東急建設(株) 長崎三景台土砂搬出工事 40,000M³ 38,000 長崎市三景台
- S53 長崎電気軌道(株) 常盤町軌道整備 10,750 長崎市常盤町
- S53 大進建設(株) 昭和町道ノ尾線道路改良第2工区 14,129 長崎市昭和町
- S53 長崎市下水道部 長大経済横φ250,200耗污水管布設 15,018 長崎市片瀨西山町
- S53 長崎県長崎土木 (主)諫早時津線特改四種 17,914 西彼多良見町先木床
- S53 長崎県長崎土木 (主)長崎野母港線舗装補修 35,404 長崎市江川町平山町
- S53 建設省長崎工事 長崎34号馬町交差点地下歩道函渠工事 36,140 長崎市馬町
- S53 崎戸町 S53(町)南風泊線道路道路改良 29,587 西彼崎戸町平島
- S53 長崎県長崎土木 (国)202号線舗装補修 56,011 長崎市
- S53 長崎県長崎土木 茂木港局部改良(4工区) 12,350 長崎市茂木町
- S53 西日本通信建設 琴海局(村松橋)加入者新增設工事 13,740 西彼琴海町
- S53 長崎県長崎土木 茂木港改修(2工区) 36,775 長崎市茂木町
- S53 長崎県長崎土木 (国)206号線交通安全施設整備 22,440 西彼琴海町大子
- S53 日本道路公団福岡建設局 九州横断自動車道岩松工事 429,542 大村市岩松
- S53 梅村建設星野組共同企 九州横断自動車道雑工工事 31,280 大村市岩松
- S53 戸田建設(株) 木鉢焼却場舗装 21,462 長崎市木鉢町
- S53 西日本通信建設 琴海局増改工事 43,190 西彼琴海町
- S53 西日本通信建設 琴海局増改工事 13,906 西彼琴海町
- S53 長崎県臨海開発局 長崎漁港修築(6工区) 66,662 長崎市三重
- S53 崎戸町 S53(町)灯台西南風泊線道路改良(2) 25,434 西彼崎戸町平島
- S53 長崎県長崎土木 (主)長崎野母港線舗装補修 38,575 長崎市江川町~平山町
- S53 長崎県長崎土木 (国)202号線舗装補修 58,697 長崎市稲佐~水の浦
- S53 建設省長崎工事 長崎34号長崎地区防災工事 48,605 長崎市
- S53 大島町 佐瀬保地区農道新設(舗装) 21,496 西彼大島町佐瀬保
- S53 小川建設(株) 岩屋都市下水路改修 13,316 長崎市岩屋町
- S53 長崎市都市計画部都計 3.4.107 出島町西山町線道路改良 31,768 長崎市
- S53 長崎市土木部道路建設 (市)昭和町川平線道路改良 39,000 長崎市昭和町西浦上小
- S53 長崎市建築部 国際文化会館別館増築に伴う講堂解体 10,300 長崎市平野町
- S53 長崎県長崎土木 茂木港都市再開発用地造成(茂木) 22,102 長崎市茂木町
- S53 日本道路公団福岡管理局 九州横断道長崎工事事務所増改築 11,870 長崎市城山町
- S53 長崎市土木部道路維持 (市)本河内第21号線道路改良 14,240 長崎市本河内町
- S53 長崎県長崎土木 (県)長崎式見港線舗装補修 13,280 長崎市竹の久保~油木

- S53 長崎県大瀬戸土木 (主)崎戸大島線舗装補修 18,903 西彼
- S54 長崎市土木部道路維持 (市)木場田舎線道路舗装 11,628 長崎市西山町
- S54 建設省長崎工事 長崎34号本河内防災工事 25,400 長崎市本河内町
- S54 長崎県大瀬戸土木 (県)扇山公園線特殊改良四種 40,179 西彼大瀬戸町久良木
- S54 長崎市交通対策部 第52号線歩道新設 23,725 長崎市
- S54 長崎県長崎土木 (主)長崎野母港線舗装補修 49,034 西彼三和町
- S54 長崎県長崎土木 (国)206号舗装補修 68,481 長崎市宝町～浜口町
- S54 長崎県大瀬戸土木 (県)上岳宮の浦線特殊改良四種 30,337 西彼西彼町
- S54 長崎県長崎耕地事務所 第二木場地区基幹農道舗装 58,340 長崎市西山木場
- S54 長崎県長崎土木 (主)長崎野母港線舗装補修 11,157 長崎市常盤町
- S54 三和町 大道線舗装改良 11,600 西彼三和町大道、開成学園附近
- S54 長崎県長崎土木 (国)206号舗装補修 14,205 長崎市浜口町
- S54 建設省長崎工事 長崎34号馬町交差点地下歩道涵渠工事 102,560 長崎市馬町
- S54 昭和物産 みのりヶ丘団地造成 213,440 長崎市大手町
- S54 (株)山口建設 (町)前田線新設(1工区) 18,460 西彼三和町藤田尾
- S54 長崎電気軌道(株) 桜町陸橋下軌道工事 11,400 長崎市桜町
- S54 長崎県臨海開発局 長崎港改修(神ノ島地区2工区) 37,524 長崎市神ノ島埋立地
- S54 香焼町 長浜地区φ200汚水幹線布設(32) 13,661 西彼香焼町長浜
- S54 長崎グリーンパーク グリーンパークカートコート舗装 10,500 西彼野母崎町高浜
- S54 (株)田浦組 (市)滑石第145号線外1線道路改良 22,048 長崎市滑石町
- S54 長崎市土木部道路維持 (市)滑石第162号線道路改良法面工 14,750 長崎市滑石町
- S54 長崎電気軌道(株) 常盤町(反田ホテル前)軌道整備 10,100 長崎市常盤町
- S54 崎戸町 S55(町)灯台西南風泊線道路改良 56,406 西彼崎戸町平島
- S55 長崎県住宅供給公社 道路舗装(横尾団地) 10,225 長崎市横尾町
- S55 長崎県長崎土木 3.4.115 旭大橋線旭大橋平面街路3工区 16,200 長崎市旭町
- S55 建設省長崎工事 長崎34号破竜井地区改良(2) 21,900 諫早市下大渡野西栄田
- S55 長崎県長崎土木 3.4.115 旭大橋線旭大橋平面街路1工区 38,692 長崎市大黒町尾上町
- S55 長崎県大瀬戸土木 (県)太田和港別当線舗装新設 22,637 西彼西海町太田和
- S55 長崎県長崎土木 (主)長崎野母港線舗装補修 59,337 長崎市松ヶ枝町
- S55 長崎県長崎土木 (国)206号舗装補修 86,728 長崎市宝町
- S55 長崎県長崎土木 (主)長崎野母港線舗装補修 15,657 長崎市戸町トンネル内
- S55 長崎県長崎土木 (主)長崎野母港線舗装補修 15,995 西彼三和町
- S55 西部瓦斯(株) 防油堤築造工事 13,995 長崎市八千代町
- S55 建設省長崎工事 長崎34号鎮西橋拡幅外1件工事 35,320 長崎市新大工町馬町
- S55 長崎県長崎土木 3.4.115 旭大橋線旭大橋平面街路2工区 49,489 長崎市旭町
- S55 長崎市水道局 茂里町川口町間配水管布設 32,425 長崎市茂里町～川口町
- S55 日本道路公団福岡管理局 長崎バイパス登坂車線拡幅 215,455 長崎市古賀町大松平

- S55 長崎県大瀬戸土木 (県)扇山公園線特殊改良四種 28,995 西彼杵大瀬戸町久良木
- S55 長崎県長崎土木 (主)諫早時津線舗装 10,947 西彼多良見町古川東園
- S55 崎戸町 S55(町)灯台西南風泊線特改四種 12,017 西彼崎戸町平島
- S55 長崎県長崎土木 向園田線路面整備(3工区) 13,398 長崎市式見町
- S55 大進建設(株) 西山低部浄水場跡地造成(1工区) 21,545 長崎市西山町
- S55 長崎市下水道部 天神～宝町φ250耗污水管布設 15,282 長崎市天神町～宝町
- S55 長崎市建築部住宅建設 狩股団地公営住宅道路排水路 17,234 長崎市清水町
- S55 長崎県臨海開発局 長崎港工業用地造成地内道路(2) 21,600 長崎市神ノ島町
- S55 建設省長崎工事 長崎34号西谷高架橋下部工(3) 38,700 諫早市下大渡野町
- S55 長崎県長崎土木 (主)長崎野母港線舗装 13,808 西彼三和町栄上
- S55 長崎電気軌道(株) 入江町分岐～西浜町間軌道整備 13,760 長崎市入江町
- S55 長崎県長崎土木 (主)長崎野母港線舗装補修 11,287 長崎市小ヶ倉町
- S55 長崎県臨海開発局 長崎港工業用地造成事業道路(Ⅱ) 24,880 長崎市小江町
- S55 崎戸町 (町)灯台西南風泊線(C)災害復旧 10,148 西彼崎戸町平島
- S55 大島町 中戸農道舗装 17,000 西彼大島町中戸
- S55 長崎県住宅供給公社 三重宅地造成(2工区) 52,768 長崎市三重町
- S55 長崎市土木部道路建設 (市)川平第7号線道路改良 22,273 長崎市川平町
- S55 崎戸町 S56(町)灯台西南風泊線特改四種 23,766 西彼崎戸町平島
- S55 長崎県大瀬戸土木 (県)扇山公園線特殊改良四種 29,427 西彼杵大瀬戸町久良木
- S55 長崎県長崎土木 (国)251号舗装補修 26,983 長崎市戸石町
- S56 長崎県大瀬戸土木 (県)上岳宮の浦線特殊改良四種 27,500 西彼西彼町上岳
- S56 大島町 大島本郷線特改四種(舗装) 10,560 西彼大島町千賀浦
- S56 長崎県長崎土木 (国)202号舗装補修 101,646 長崎市宝町～大黒町NHX前
- S56 鹿島道路(株) 長与北部土地地区画整理事業(2) 10,384 西彼長与町
- S56 長崎県長崎土木 (主)長崎野母港線舗装補修 10,338 長崎市松ヶ枝町
- S56 長崎県臨海開発局 長崎港(福田神ノ島地区)工業用地造成 40,685 長崎市神ノ島町
- S56 長崎県長崎土木 (主)長崎野母港線舗装補修 15,200 長崎市土井の首町
- S56 長崎市建築部住宅建設 狩股団地公営住宅新築敷地造成 18,123 長崎市音無町
- S56 長崎市交通対策部 (市)昭和町川平線歩道新設 28,540 長崎市川平町女の都口付近
- S56 長崎市水道局 御船蔵町配水管布設 10,289 長崎市御船蔵町
- S56 長崎市建築部住宅建設 西北公営住宅新築地域関連道路改良 20,880 長崎市西北町
- S56 長崎県大瀬戸土木 (主)崎戸大島線特殊改良四種 18,318 西彼崎戸町浅浦
- S56 崎戸町 S56(町)灯台西南風泊線道路改良 56,010 西彼崎戸町平島
- S56 西部瓦斯(株) 八千代町宝町間φ300ガス管理設土工 12,376 長崎市八千代町～宝町
- S56 建設省長崎工事 長崎34号下大渡野地区法覆 50,500 諫早市下大渡野町
- S56 長崎市下水道部 宝町φ250耗污水管布設 23,496 長崎市宝町
- S56 長崎県大瀬戸土木 (国)202号舗装新設 48,896 西彼大瀬戸町板浦～多以良～柳

- S56 長崎県大瀬戸土木 馬込港埠頭用地造成 27,264 西彼大島町馬込
- S56 長崎県土地開発公社 時津第8工区埋立地国道新設(1) 118,538 西彼時津町
- S56 香焼町 堀切西φ200耗污水管布設 14,836 西彼香焼町堀切西
- S56 長崎市都市計画部都計 3.3.107出島西山線道路改良(2) 24,600 長崎市西山2丁目
- S56 長崎市農林水産部 (林)大崎線舗装 13,260 長崎市大崎町
- S56 長崎県土地開発公社 長崎南高第2グラウンド災害復旧 26,982 長崎市上小島町
- S56 三和町 栄上総合公園整備事業 51,500 西彼三和町栄上
- S56 建設省長崎工事 長崎34号破竜井地区改良(2) 46,000 諫早下大渡野町破竜井
- S56 崎戸町 内畷田線舗装(1工区) 10,800 西彼崎戸町
- S56 長崎県大瀬戸土木 (県)太田和港別当線外1線舗装 11,559 西彼西海町太田和
- S56 長崎県長崎土木 浦上川線道路舗装 32,084 長崎市茂里町
- S57 佐藤工業(株) 時津8工区汚水処理場新築 26,575 西彼時津町
- S56 長崎県長崎土木 (国)206号道路改良(車道拡幅) 13,400 長崎市住吉町
- S56 中九州道路サービス 長崎バイパス古賀地区法面防災工事 10,846 長崎市古賀町
- S56 三菱電機通信機製作所 野岳局鉄塔基礎工事(30M用) 17,185 南高来郡小浜町雲仙
- S56 三和町 前田線舗装 10,100 西彼三和町藤田尾前田
- S56 長崎県建設工業協組 久山敷地内舗装 20,500
- S57 九州日アス工事(株) サウジ向け耐火段熱工事(名村造船所) 21,290 佐賀県伊万里市
- S57 長崎県大瀬戸土木 馬込港改修(道路舗装) 10,990 西彼大島町馬込
- S57 長崎県長崎土木 (主)長崎野母港線道路舗装 13,101 長崎市江川町
- S57 長崎県大瀬戸土木 (主)崎戸大島線特殊改良四種 26,920 西彼崎戸町浅浦
- S57 長崎県大瀬戸土木 (県)上岳宮の浦線特殊改良四種 25,767 西彼西彼町中山
- S57 長崎市土木部道路建設 長崎市中央卸売市場卸売場床面舗装 15,545 長崎市田中町
- S56 崎戸町 S57(町)灯台西南風泊線道路改良 65,125 西彼崎戸町平島
- S57 建設省長崎工事 長崎34号破竜井地区舗装(1) 59,300 諫早市下大渡野地先
- S57 (株)長崎上滝建設 矢上団地汚水工事 14,817 長崎市矢上町
- S57 三和町 栄上総合公園整備事業幹線排水路 31,200 西彼三和町栄上総合公園内
- S57 日本道路公団福岡管理局 長崎バイパス災害応急復旧(2) 21,600 長崎市
- S57 建設省長崎工事 長崎芒塚地区災害復旧(2) 40,000 長崎市芒塚町
- S57 建設省長崎工事 長崎芒塚地区災害復旧(3) 37,700 長崎市芒塚町
- S57 建設省長崎工事 長崎本河内地区災害復旧(1) 33,500 長崎市本河内町
- S57 建設省長崎工事 長崎本河内地区災害復旧(2) 55,100 長崎市本河内町
- S57 建設省長崎工事 長崎芒塚地区災害復旧(1) 56,400 長崎市芒塚町
- S57 増田建設工業(株) 小ヶ倉団地φ250耗污水管布設 12,226 長崎市小ヶ倉団地内
- S57 大島町 大島漁港関連道整備 24,536 西彼大島町
- S57 長崎県長崎土木 (県)深堀三和線舗装補修 18,317 西彼三和町椿ヶ丘
- S57 長崎県長崎土木 (国)206号舗装補修 56,860 長崎市松山町

S57	長崎県長崎土木	(主)長崎野母港線舗装補修	83,714	長崎市松ヶ枝町他1町
S57	長崎市建築部住宅建設	西北団地公営住宅新築敷地造成	47,294	長崎市西北町
S57	長崎県長崎土木	(国)206号舗装補修	54,377	西彼琴海町大江L900長土管内
S57	崎戸町	S57(町)灯台西南風泊線特改四種	15,754	西彼崎戸町平島
S57	大拓建設(株)	(国)202号舗装新設	22,047	西彼大瀬戸町板浦
S57	(株)長崎上滝建設	3.5.148矢上団地2号線道路改良	15,626	長崎市東町
S57	日本道路公団福岡管理局	長崎バイパス災害復旧(2)	66,285	長崎市三ツ山~川平町
S57	長崎市農林水産部林務	(林)大崎線災害復旧(1)	12,634	長崎市大崎町
S57	建設省長崎工事	長崎本河内地区災害復旧(3)	28,900	長崎市本河内町
S57	長崎市都市計画部都計	3.3.107出島町西山町線舗装新設	31,940	長崎市西山町2丁目
S57	地域振興整備公団	諫早中核工業団地整地工事(10)	89,460	諫早市津久葉町
S57	協星技建(株)	三重団地道路舗装(2工区)	25,232	長崎市京泊町
S57	鹿島道路(株)	浦上川線道路舗装タイル工事	17,709	長崎市茂里町帝国酸素跡
S57	ピーエスコンクリート(株)	田手原中部PC減圧槽築造工事	61,500	長崎市田手原町
S57	長崎県長崎土木	(主)長崎野母港線舗装補修	11,130	長崎市常盤町
S58	長崎県長崎土木	手崎川災害関連工事(3工区)	68,600	西彼琴海町手崎
S58	長崎県長崎土木	(主)長崎野母港線舗装補修	71,041	長崎市小ヶ倉町
S58	建設省長崎工事	長崎34号馬町地下歩道内装工工事	12,000	長崎市馬町
S58	ピーエスコンクリート(株)	小ヶ倉配水池工事(タンク)	19,000	長崎市小ヶ倉ガヤソド
S58	(株)栄組	東望橋橋梁整備	12,000	長崎市東町
S58	鹿島道路(株)	小ヶ倉ニュータウン舗装1期工事	37,856	長崎市小ヶ倉ガヤソド
S58	日本国土開発(株)	葉山水路改修	24,258	長崎市葉山町
S58	日本国土開発(株)	滑石側水路改修付帯工事	19,322	長崎市葉山町
S58	長崎県大瀬戸土木	S58宮崎浦地区急傾斜地崩壊対策	18,180	西彼崎戸町平島
S58	深堀建設	茂木住宅用地道路舗装	14,583	長崎市北浦町
S58	協星技建(株)	時津第8工区住宅用道路舗装	13,425	西彼時津町
S58	長崎市建築部	若竹団地公営住宅新築敷地造成	68,500	長崎市若竹町
S57	松尾舗道	長崎34号馬町交差点舗装	25,984	長崎市馬町
S57	長崎市土木部道路建設	(市)上小島高丘線道路改良	17,180	長崎市上小島4丁目
S57	長崎スズキ販売	時津事務所増改築及びバイク置場新築	38,800	西彼時津町
S57	長崎市下水道部	普通河川森崎川(5)災害復旧	11,226	長崎市本河内町
S57	長与町	準用河川おこ川(7)河川災害復旧	13,700	西彼長与町岡郷
S57	長崎市下水道河川課	長崎市上河平第1水路道路災害復旧	12,280	長崎市茂木町
S57	小川建設(株)	(主)長崎野母港橋梁架換道路改良	26,842	長崎市松ヶ枝橋歩道部拡幅
S57	長崎市下水道部	普通河川三ツ山川(2)災害復旧	18,790	長崎市三ツ山町
S58	長崎県長崎土木	(主)長崎野母港線道路改良	20,050	西彼三和町栄上
S57	長崎市下水道部	普通河川鍛原川災害復旧	10,345	長崎市早坂町

- S58 長崎市下水道部 普通河川早坂川災害復旧 39,044 長崎市早坂町
- S58 長崎市下水道部 本河内川災害関連工事(1) 76,440 長崎市本河内町
- S57 長崎県臨海開発局 長崎港工業用地造成事業道路工事(7) 19,360 長崎市神ノ島町
- S57 長崎県臨海開発局 長崎港工業用地造成事業道路工事(9) 18,650 長崎市神ノ島町
- S57 長与町 S57年災田代1工区地区災害復旧工 14,120 西彼長与町
- S58 長崎県土地開発公社 時津第8工区(A工区)住宅用地造成 54,094 西彼時津町
- S58 建設省長崎工事 長崎34号中川地区改築 53,500 長崎市中川町
- S58 長崎県大瀬戸土木 (主)崎戸大島線特殊改良四種 27,483 西彼崎戸町浅浦
- S58 崎戸町 S58(町)灯台西南風泊線道路改良 55,806 西彼崎戸町平島
- S58 長崎市下水道部 八つ尾町φ250耗污水管布設工(3) 25,433 長崎市八つ尾町
- S58 長崎県住宅供給公社 矢上団地舗装(2工区) 62,750 長崎市東町
- S58 長崎県長崎土木 (国)206号舗装補修 62,761 西彼琴海町大江～形上
- S58 長崎市農林水産部林務 (林)大崎線災害復旧(2) 26,650 長崎市大崎町
- S58 長崎県長崎土木 (県)伊王島線特殊改良四種 27,037 西彼伊王島町
- S58 長崎県長崎耕地事務所 木場第二地区農道舗装 55,690 長崎市西山木場町
- S58 長崎県住宅供給公社 3.5.148.矢上団地2号線舗装新設 54,289 長崎市東町
- S58 長崎県住宅供給公社 3.4.147.矢上団地1号線舗装新設 55,325 長崎市東町
- S58 長崎市土木部道路建設 (市)上小島高丘線道路改良 18,600 長崎市上小島4丁目
- S58 大島町 大島中戸線特改四種 11,610 西彼大島町太田尾
- S58 大島町 大島本郷線特改四種 12,755 西彼大島町千賀浦
- S58 崎戸町 S58(町)灯台西南風泊線特改四種 25,974 西彼崎戸町平島
- S58 長崎県長崎土木 (国)206号舗装補修 77,167 長崎市松山町
- S58 長崎市下水道部 小ヶ倉φ250耗污水管布設(2) 12,582 長崎市小ヶ倉町
- S58 長崎県大瀬戸土木 (国)202号舗装新設 10,949 西彼西海町横瀬
- S58 長崎県大瀬戸土木 馬込港改修(2工区) 12,078 西彼大島町
- S58 日本道路公団福岡管理局 長崎バイパス法面防災工事 83,068 長崎市三ツ山町
- S58 長崎市水道局 小ヶ倉2丁目配水管布設 12,968 長崎市小ヶ倉町
- S58 長崎市都市計画部都計 恵美須町油屋町線道路改良 14,000 長崎市鍛冶屋町
- S58 (株)長崎上滝建設 八郎川水系(八郎川)災害復旧(6工区) 29,695 長崎市東町
- S58 長崎県大瀬戸土木 (国)206号交通安全施設等整備 18,409 西彼西彼町喰場
- S58 建設省長崎工事 長崎平間地区防災外2件工事 19,300 長崎市平間～芒塚
- S58 大島町 真砂団地道路整備 11,000 西彼大島町真砂
- S59 (株)長崎上滝建設 (県)昭和馬町線道路改良 26,061 長崎市西山旧高部水源地跡
- S59 戸田建設(株) 長崎34号中川地区改築 44,889 長崎市中川町
- S59 鹿島道路(株) 小ヶ倉ニュータウン舗装2期工事 22,704 長崎市小ヶ倉ダイヤランド
- S59 東京舗装 崎戸製塩所外圍道路舗装 10,580 西彼崎戸町
- S59 平戸組 築港浜線舗装新設 10,868 西彼伊王島町

S59	長崎県長崎土木	浦上川災害復旧助成工事(2工区)	52,247	長崎市大手町
S59	協星技建(株)	時津第8工区(3-2工区)舗装(1)	14,807	西彼時津町久留里
S58	長崎市都市計画部都計	出島町西山町線舗装新設	22,650	長崎市西山町2丁目
S59	亀谷建設	文教台団地造成(1)	288,500	長崎市大手町287-1
S58	長崎県長崎土木	浦上川災害復旧助成(7工区)	66,276	長崎市川平町
S58	琴海町	S58町道風明線舗装	15,051	西彼琴海町村松郷
S58	長崎県長崎土木	鹿尾ダム道路舗装	16,100	長崎市新戸町
S59	長崎県長崎耕地事務所	西海地区1号農道舗装(2)	12,860	西彼西海町七つ釜
S59	長崎市都市計画部都計	出島町西山町線道路改良	15,342	長崎市西山町2丁目
S59	崎戸町	S59(町)灯台南風泊線道路改良	17,388	西彼崎戸町平島
S59	(株)山口建設	(市)銭座町目覚線歩道新設	16,226	長崎市銭座町
S59	建設省長崎工事	長崎34号蛸茶屋地区改良	44,100	長崎市中川町
S59	長崎市土地開発公社	川平小学校橋梁架設工事	34,800	長崎市川平町
S59	長崎県大瀬戸土木	S59宮崎浦地区急傾斜地崩壊対策	23,900	西彼崎戸町平島
S59	長崎県長崎土木	(国)206号舗装補修	45,110	西彼琴海町形上L1160
S59	長崎県長崎土木	浦上川災害復旧助成13工区可動堰下部工	19,651	長崎市川平町
S59	長崎県長崎土木	(国)206号舗装補修	50,135	西彼琴海町長浦
S59	大島町	大島中戸線特改四種	11,067	西彼大島町白浜
S59	三和町	為石布巻地区舗装	12,000	西彼三和町為石布巻
S59	長崎県長崎土木	(国)206号舗装補修	40,004	長崎市大橋町岩屋橋前後
S59	大拓建設(株)	(県)伊王島線特殊改良四種	19,442	西彼伊王島町
S59	建設省長崎工事	長崎34号馬町交差点改築	50,500	長崎市馬町
S59	長崎市都市計画部都計	東望橋橋梁整備	48,633	長崎市田中町~東町
S59	崎戸町	S59(町)灯台西南風泊線特改四種	18,902	西彼崎戸町平島
S59	長崎市水道局	新大工町配水管布設	10,704	長崎市新大工町
S59	長崎市下水道部	泉町φ250耗污水管布設(1)	13,900	長崎市泉町商業高校進入口
S59	長崎市都市計画部公園	歩道改良(駅前~市役所)(1)	41,593	長崎市恵美須町桜町
S59	長崎県長崎土木	(国)206号道路緑化関連工事1工区	20,799	長崎市大橋町
S59	長崎市下水道部河川課	銭座地区下水排水路整備(5工区)	13,210	長崎市銭座町
S59	長崎市水道局	大黒町恵美須町配水管布設	17,555	長崎市大黒町恵美須町
S60	鹿島道路(株)	小ヶ倉ニュータウン舗装3期工事	32,739	長崎市小ヶ倉ダイヤランド
S60	三菱建設(株)	崎戸製塩所構内舗装	10,274	西彼崎戸町
S60	大同興業(有)	(主)崎戸大島線道路改良(舗装)	12,470	西彼崎戸町津浦
S59	長崎県長崎土木	(主)長崎野母港線歩道整備(1工区)	49,183	長崎市松ヶ枝常盤町
S59	長崎県臨海開発局	長崎港(松ヶ枝)埠頭用地造駐車場舗装	21,800	長崎市松ヶ枝町
S59	建設省長崎工事	長崎57号諫早地区舗装(2)	20,400	諫早市長野町
S59	長崎県臨海開発局	長崎漁港道路舗装(敢刈)	17,850	長崎市三重敢刈

S59	長崎県長崎土木	浦上川災害復旧助成工事(18工区)	14,075	長崎市川平町川平小裏
S59	長崎県長崎土木	八郎川(現川川)災害復旧助成(10)	16,918	長崎市矢上町日野前
S59	長崎県道路公社	矢上大橋有料道路建設舗装1工区	60,572	長崎市田中町
S59	長崎県道路公社	矢上大橋有料道路建設舗装2工区	115,768	長崎市戸石町
S59	長崎県下水道部	泉町φ250耗污水管布設(2)	24,017	長崎市泉町
S59	長崎県長崎土木	(国)207号道路舗装	11,433	西彼多良見町古川
S60	長崎県長崎土木	(国)206号舗装補修	58,789	西彼琴海町長浦L890
S60	長崎県大瀬戸土木	S60宮崎浦地区急傾斜地崩壊対策(1)	26,850	西彼崎戸町平島
S60	長崎県長崎土木	浦上川災害復旧助成工事(2工区)	39,176	長崎市昭和町
S60	長崎市都市計画部都計	出島町西山町線道路改良(2)	16,162	長崎市西山2丁目
S60	長崎県長崎土木	芒塚大町川砂防激甚災害特別緊急流路	16,300	長崎市芒塚町
S60	長崎県長崎土木	(国)206号舗装補修	45,727	西彼琴海町形上
S60	三和町	三和中学校運動場拡張工事	29,290	西彼三和町為石
S60	建設省長崎工事	長崎34号馬町地区舗装	22,270	長崎市馬町
S60	崎戸町	S60(町)灯台南風泊線道路改良	33,873	西彼崎戸町平島
S60	長崎県長崎土木	(国)251号舗装新設	20,673	長崎市戸石町
S60	長崎県大瀬戸土木	(主)崎戸大島線舗装新設	14,842	西彼大島町蛤
S60	日本道路公団福岡管理局	長崎パハス三ツ山地区法面災害復旧	61,007	長崎市三ツ山町
S60	長崎県大瀬戸土木	S60宮崎浦地区急傾斜地崩壊対策(2)	10,250	西彼崎戸町平島
S60	建設省長崎工事	長崎57号諫早地区改築	48,500	諫早市長野町
S60	長崎電気軌道(株)	馬町新大工間軌道移設工事	87,200	長崎市馬町新大工町
S60	長崎県臨海開発局	長崎漁港道路舗装(公園地区)	28,800	長崎市京泊町
S60	長崎市土木部道路建設	(市)遠ノ木場1号舗装新設促進3	20,325	長崎市鳴見町
S60	長崎市土木部道路維持	(市)大黒魚の町線他1線道改板石舗装	38,800	長崎市魚の町歩道
S60	建設省長崎工事	長崎34号喜々津橋下部工工事	31,400	西彼多良見町
S60	長崎県下水道部	小ヶ倉2丁目φ250/200耗污水管推進	17,069	長崎市小ヶ倉
S60	大島町	間瀬商店街々路カラー舗装	11,448	西彼大島町間瀬
S60	建設省長崎工事	長崎34号螢茶屋函渠工事	59,200	長崎市中川町
S60	建設省長崎工事	長崎57号諫早地区改築(2)外1件工事	28,500	長野町~小船越町
S60	長崎県長崎土木	目覚町油木町天主堂線道路舗装	26,900	長崎市茂里町
S60	崎戸町	東山線特殊改良4種	11,504	西彼崎戸町
S60	長崎県長崎土木	小ヶ倉螢茶屋線舗装新設	11,559	長崎市上戸町
S60	建設省長崎工事	長崎34号中川地区構造物(1)工事	58,500	長崎市中川町
S61	長崎県長崎土木	芒塚川(大町川)砂防激甚災害対策特別緊急工事	39,144	長崎市芒塚
S61	建設省長崎工事	長崎34号中川地区構造物(3)工事	33,600	長崎市中川町
S61	長崎県大瀬戸土木	S61宮崎浦地区急傾斜地崩壊対策(1)	17,390	西彼崎戸町平島
S61	綾部総業	打坂駐車場スラブ工事(1)	36,000	西彼時津町打坂

- S61 長崎電気軌道(株) 長崎34号馬町地区軌道撤去及復旧 18,600 長崎市馬町
- S61 大島町 大島中戸線特改四種 10,031 西彼大島町白浜
- S61 長崎県長崎土木 (国)206号舗装補修 45,224 西彼琴海町形上
- S61 長崎県長崎土木 (国)206号舗装補修 54,546 西彼琴海町長浦
- S61 大和ハウス工業(株)「洋服の青山時津店」新築 16,220 西彼時津町元村郷打坂
- S61 崎戸町 S61(町)灯台南風泊線道路改良 59,100 西彼崎戸町平島
- S61 長崎県大瀬戸土木 S61宮崎浦地区急傾斜地崩壊対策(2) 26,670 西彼崎戸町平島
- S61 建設省長崎工事 長崎34号馬町地下歩道内装工事 21,900 長崎市馬町電停下
- S61 長崎県長崎土木 (主)野母崎宿線特四 36,020 西彼三和町川原
- S61 長崎県臨海開発局 長崎漁港修築道路(D、F、J、K)舗装 69,700 長崎市京泊町
- S61 堀辰治(トモエ薬品) トモエ薬品有料駐車場改造工事 15,820 長崎市銭座町
- S61 長崎県住宅供給公社 3・5・149矢上団地3号線舗装新設 23,600 長崎市かき道4丁目
- S61 西海碎石 西海碎石プラント基礎工事 76,000 長崎市小江原町
- S61 長崎市都市計画 出島町西山町線擁壁その他工事 23,192 長崎市西山2丁目経済先
- S61 長崎県長崎土木 (国)207号舗装新設(2工区) 14,520 西彼多良見町東園
- S61 長崎県長崎土木 (主)野母崎宿線道路舗装 10,390 長崎市潮見町
- S61 長崎市都市計画 常盤橋(下部工)架替工事 40,546 長崎市栄、賑、古川、万屋町
- S61 長崎市土木部 (市)第294号線道路改良板石舗装 45,000 長崎市丸山思案橋正覚寺
- S61 (株)長崎西海建設 樺島漁港修築(6工区) 11,330 西彼野母崎町樺島
- S61 大拓建設(株) 新長崎漁港卸売市場整備事業 21,445 長崎市京泊
- S61 大同興業(有) 大崎高校テニスコート整備 10,300 西彼大島町中戸
- S61 長崎県長崎土木 鹿尾ダム付替道路舗装(2工区) 16,432 長崎市大山町
- S61 長崎県長崎土木 中島川激特工事(道路整備) 38,000 長崎市栄町魚の町
- S61 綾部総業 打坂駐車場スラブ工事(2) 39,000 西彼時津町打坂
- S61 長崎県大瀬戸土木 浦川荒廃砂防工事(第1期) 65,600 西彼崎戸町平島
- S61 地域振興整備公団 諫早中核工業団地Q区画分割道路工事 27,300 諫早市津久葉町
- S61 長星開発(株) 福田プラント新設(本工事) 22,170 長崎市福田町
- S61 長星開発(株) 福田プラント生コン骨材ヤードスラブ工事 12,190 長崎市小江原町
- S61 協星技建(株) 矢上団地区画街路舗装 22,681 長崎市かき道4丁目
- S61 西彼町 (町)中山亀岳線特改四種 12,080 西彼西彼町中山
- S61 長崎県長崎土木 (国)207号舗装新設 14,706 西彼多良見町古川
- S61 (株)長崎中央建設 浦上川災害復旧助成工事(10工区) 16,864 長崎市川平町
- S62 長崎県長崎土木 (国)206号舗装補修 37,176 西彼琴海町形上
- S62 長崎県大瀬戸土木 S62宮崎浦地区急傾斜地崩壊対策 54,618 西彼崎戸町平島
- S62 日本道路公団福岡建設局 長崎バイパス工事事務所増築 17,430 長崎市城山町
- S62 長崎県長崎土木 (国)202号舗装補修 77,110 長崎市大黒町
- S62 建設省長崎工事 長崎34号馬町交差点舗装他1件工事 50,800 長崎市馬町~新中川

- S62 崎戸町 S62(町)灯台南風泊線道路改良 76,120 西彼崎戸町平島
- S62 長星開発(株) 福田工場内舗装 13,370 長崎市福田町
- S62 長崎県長崎土木 (国)251号舗装補修 12,094 長崎市矢上町
- S62 西日本菱重興産(株) 浦上川河川環境整備(1工区) 38,902 長崎市稲佐町稲佐橋
- S62 長崎市公園課 中島川公園整備(5工区) 46,931 長崎市魚の町
- S62 長崎県長崎土木 (主)野母崎宿線特四 10,080 西彼三和町川原
- S62 長崎電気軌道(株) (主)長崎野母港線舗装補修 27,314 長崎市大波止交差点
- S62 外海町 S62団体営農道舗装事業牧野地区 24,926 西彼外海町牧野郷
- S62 (株)西海興業 東長崎縦貫線道路改良(1工区)その他工事 21,455 長崎市かき道町
- S62 九州電気工事(株) (国)202号大黒町尾上町舗装復旧 20,400 長崎市大黒町尾上町
- S62 建設省長崎工事 長崎34号中川地区改築 71,710 長崎市中川~新中川
- S62 長崎県長崎土木 中島川(激特)工事(2工区) 142,970 長崎市万屋町賑町
- S62 長崎県住宅供給公社 3.5.149矢上団地3号線舗装新設 20,372 長崎市かき道4丁目
- S62 長崎県長崎耕地事務所 枝河内地区ため池整備 20,500 西彼崎戸町江島
- S62 長崎県大瀬戸土木 浦川荒廃砂防工事(第2期) 132,400 西彼崎戸町平島
- S62 長崎市都市計画課 出島町西山町線道路改良(2工区) 40,596 長崎市下西山町
- S62 長崎市下水道部 大浜町φ250、200耗汚水管布設替(3) 19,515 長崎市大浜町
- S62 長崎県長崎土木 (国)202号道路改良蝶ヶ崎トンネル 388,535 手熊式見町
- S62 藤野金物店 藤野ビル新築(キッチン倶楽部) 25,000 長崎市万屋町
- S62 星野義次 星野邸新築 23,100 長崎市炉粕町
- S62 長崎県長崎土木 中島川(激特)工事(3工区) 112,642 長崎市江戸町中央橋
- S62 長崎電気軌道(株) 新中川~蛍茶屋間軌道移設 311,400 長崎市新中川~中川2丁目
- S62 長崎県大瀬戸土木 (県)寺島馬込港線寺島橋橋梁整備 18,032 西彼大島町間瀬
- S62 長崎市水道局 中川2丁目配水管布設 20,132 長崎市中川2丁目
- S62 長崎市都市計画課 恵美須町油屋町線常盤橋(下部工)架替 31,066 長崎市栄町古川町
- S62 大島町 (町)寺島線道路改良(舗装) 21,700 西彼大島町寺島
- S62 長崎県臨海開発局 新長崎漁港卸売市場整備(2工区) 59,843 長崎市京泊
- S62 長崎県長崎土木 浦上川小規模河川改修(1工区) 88,225 長崎市宝栄町竹岩橋
- S62 長崎県大瀬戸土木 (主)崎戸大島線特種改良一種 19,859 西彼大島町中戸
- S62 長崎県長崎土木 大波止小ヶ倉線道路改良橋梁埋立 207,302 長崎市松ヶ枝町
- S62 長崎県大瀬戸土木 (県)寺島馬込港線道路改良 14,700 西彼大島町寺島
- S62 長崎県長崎土木 (国)206号交通安全施設等備工事 20,711 西彼琴海町手崎
- S62 長崎電気軌道(株) 浦上川線道路建設に伴う軌道移設工事 87,047 長崎市川口町
- S62 長崎県長崎土木 (主)長崎野母港線舗装新設 11,940 西彼野母崎町以下宿
- S62 長崎電気軌道(株) 下の川ボックスカルバート設置工事 13,000 長崎市川口町
- S62 長崎県長崎土木 (国)206号道路改良(舗装) 10,306 長崎市赤迫町
- S62 長崎県長崎土木 大波止小ヶ倉線道路舗装 20,675 長崎市松ヶ枝町

- S62 日本舗道(株) 川平有料道路建設 19,419 長崎市川平町
- S62 長崎県長崎土木 (県)深堀三和線舗装新設 10,106 西彼三和町為石
- S62 長崎県長崎土木 鹿尾ダム付替道路舗装(6工区) 19,260 長崎市大山町
- S62 長崎県長崎土木 鹿尾ダム付替道路舗装(5工区) 12,330 長崎市鹿尾町
- S62 長崎市公園課 宝町公園整備 39,170 長崎市宝町
- S62 長崎県長崎土木 (主)長崎野母港線道路改良(舗装) 12,320 長崎市江川町
- S62 崎戸町 矢坪海岸線道路災害復旧 10,518 西彼杵崎戸町平島
- S62 長崎市水道局 宝町φ500耗配水管布設替工事 10,492 長崎市宝町宝町公園
- S62 長崎市下水道部 中川町污水管布設 15,203 長崎市中川2丁目
- S63 長崎県長崎土木 浦上川臨時河川等整備(竹岩橋) 10,300 長崎市宝栄町
- S63 長崎県長崎土木 (主)長崎野母港線道路補修 28,402 長崎市平山町
- S63 長崎県大瀬戸土木 S63宮崎浦地区急傾斜地崩壊対策 37,850 西彼崎戸町平島
- S63 長崎県長崎土木 浦上川小規模河川改修(竹岩橋仮設) 46,200 宝栄町茂里町
- S63 長崎県長崎土木 (国)206号舗装補修 57,100 西彼琴海町形上
- S63 長崎県長崎土木 (主)長崎野母港線道路補修 37,957 長崎市小ヶ倉
- S63 長崎県大瀬戸土木 (国)206号舗装補修 28,471 西彼西彼町上岳
- S63 長崎県大瀬戸土木 浦川荒廃砂防工事(第3期) 133,041 西彼崎戸町平島
- S63 長崎県長崎土木 (県)神ノ島飽の浦線舗装補修 10,346 長崎市西泊町
- S63 長崎電気軌道(株) (国)202号軌道内舗装補修(3工区) 42,600 長崎市大黒町
- S63 長崎電気軌道(株) 中島川橋梁改良(賑町軌道橋架替) 277,727 長崎市賑町万屋町
- S63 長崎市下水道建設課 小菅町φ200耗污水管布設(3) 14,283 長崎市小菅町
- S63 長崎県大瀬戸土木 肥前大島港改修(1工区) 10,400 西彼大島町寺島
- S63 崎戸町 S63(町)灯台南風泊線道路改良 84,120 西彼崎戸町平島
- S63 建設省長崎工事 長崎34号新大工地区改築 88,000 長崎市新大工町～馬町
- S63 長崎市道路建設課 (市)栄町油屋町1号線ケ-ブルックス工事 46,357 長崎市鍛冶屋町
- S63 長崎電気軌道(株) 新大工町～新中川町間軌道移設 180,000 長崎市新大工町新中川町
- S63 西部瓦斯(株) 中の島護岸復旧 10,187 長崎市幸町馬込川河口
- S63 長崎県長崎土木 (国)202号舗装補修(1工区) 22,153 長崎市大黒町
- S63 長崎市都市計画課 出島町西山町線道路改良(3工区) 17,462 長崎市西山2丁目
- S63 長崎県長崎土木 大波止小ヶ倉線道路舗装 10,046 長崎市常盤町
- S63 長崎県長崎土木 小ヶ倉堂茶屋線道路舗装 21,612 長崎市戸町2丁目
- S63 長崎県長崎土木 浦上川小規模河川改修(竹岩橋) 61,620 長崎市宝栄町
- S63 大島町 内浦湾一周散策道路整備 10,552 西彼大島町内浦
- S63 武藤建設(株) 八郎川東川端線道路改良(2工区) 10,620 長崎市矢上町小学校裏手
- S63 (株)長崎西部建設 大波止小ヶ倉線道路改良 11,780 長崎市常盤町倉庫前
- S63 長崎県長崎土木 (国)207号舗装新設 19,302 西彼多良見町古川
- S63 武藤建設(株) 千歳橋橋梁整備(国道206号) 33,026 長崎市千歳町～若葉町

S63	建設省長崎工事	大里郷地区防災(2)工事	44,700	大村市大里郷
S63	長崎市都市計画課	出島町西山町線道路改良(6工区)舗装	26,188	長崎市下西山
S63	長崎市都市計画課	東長崎縦貫線道路改良(5工区)舗装	28,497	長崎市東町
S63	長崎県長崎土木	中島川(激特)工事	54,200	長崎市賑町
S63	長崎県長崎土木	浦上川臨時河川等整備(竹岩橋)	15,000	長崎市宝栄町歩道
S63	長崎県大瀬戸土木	(県)上岳宮浦線道路改良(舗装)	10,155	西彼西彼町上岳
S63	長崎県長崎土木	二級河川浦上川(1)河川災害復旧	12,330	長崎市宝栄町
S63	長崎県長崎土木	(主)東長崎長与線道路改良(舗装)	11,215	長崎市畦別当
H01	長崎県長崎土木	浦上川線立体交叉舗装	78,950	長崎市浜口町川口町
H01	長崎電気軌道(株)	賑橋交差点連接軌道工事	20,630	長崎市賑町万屋町
H01	長崎県長崎土木	(国)206号舗装補修	31,523	長崎市浜口町
H01	神長ボーリング	鳴見ダム地滑り対策	24,600	長崎市鳴見町
H01	長崎県長崎土木	(主)長崎野母港線舗装新設	14,453	西彼野母崎町黒浜
H01	大島町	間瀬大島線特改四種	13,524	西彼大島町
H01	長崎県長崎土木	(主)長崎野母港線舗装新設	46,997	西彼三和町平山
H01	長崎県長崎土木	(主)長崎野母港線道路補修	35,014	長崎市小菅町
H01	長崎県長崎土木	大波止小ヶ倉線道路舗装(2工区)	27,611	長崎市常盤松ヶ枝
H01	長崎県長崎土木	大波止小ヶ倉線道路改良	18,200	長崎市常盤松ヶ枝町
H01	長崎県大瀬戸土木	H01宮崎浦地区急傾斜地崩壊対策	36,296	西彼崎戸町平島
H01	長崎県大瀬戸土木	浦川荒廃砂防工事(第4期)	84,340	西彼崎戸町平島
H01	長崎市水道局	西琴平配水管布設	15,954	長崎市西琴平町
H01	長崎電気軌道(株)	(国)206号(軌道内)舗装補修(2)	29,730	長崎市浜口町
H01	長崎市下水道部	西琴平φ200耗汚水管布設(1)	20,735	長崎市西琴平町
H01	長崎県長崎土木	(国)202号舗装補修	20,736	長崎市大黒町
H01	佐々木工業(株)	長崎34号興善町地区改築	29,500	長崎市興善町
H01	崎戸町	H01(町)灯台南風泊線道路改良	45,166	西彼崎戸町平島
H01	崎戸町	H01(町)灯台西南風泊線特改四種	18,019	西彼崎戸町平島
H01	建設省長崎工事	長崎34号本河内地区改築	67,970	長崎市本河内町
H01	崎戸町	三代道路(明治通)道路改良	38,349	西彼崎戸町
H01	(名)三星産業	三星産業駐車場増築	29,800	長崎市宝町
H01	長崎県長崎土木	小ヶ倉堂茶屋線道路舗装	14,952	長崎市戸町町
H01	長崎県長崎土木	(国)206号(茂里橋)橋梁補修	22,379	長崎市茂里町
H01	長崎県大瀬戸土木	(国)206号舗装補修	41,960	西彼西彼町上岳
H01	長崎県長崎土木	(国)206号舗装新設	31,389	西彼西彼町烏加
H01	(株)長崎土建工業所	中島川中小河川改修(鉄橋下部工)	32,281	長崎市西浜町
H01	長崎市土木部	銭座小学校運動場整備	37,246	長崎市銭座町
H01	長崎県長崎耕地事務所	戸根地区農道舗装	10,350	西彼琴海町戸根

H01	長崎県長崎土木	(主)長崎野母港線舗装新設	17,674	長崎市江川町
H01	長崎県長崎土木	(主)長崎野母港線外1線道路舗装	28,101	長崎市西坂町
H01	長崎県長崎土木	(主)長崎野母港線外1線道路舗装	34,937	長崎市目覚町
H01	長崎県長崎土木	(主)長崎野母港線外1線道路舗装	55,944	長崎市大橋町
H01	長崎県長崎土木	大波止小ヶ倉線道路舗装	31,130	長崎市戸町3丁目
H01	日本道路公団福岡管理局	長崎自動車道ICトールゲート改良	22,150	大村市池田町
H01	長崎県長崎土木	中島川中小河川改修(賑橋下部工)	86,670	長崎市賑町
H01	長崎市土木部	(市)大黒町廻屋町線道路改良(板石)	19,000	長崎市恵美須町魚の町
H01	(株)バジェットレンタカー	バジェット宝町店事務所建設	19,500	長崎市宝町
H01	長崎県長崎土木	(県)207号舗装新設	22,291	西彼多良見町古川
H01	長崎電気軌道(株)	賑町交差点接続軌道工事	20,630	長崎市賑町
H01	長崎県長崎土木	大波止小ヶ倉線道路改良(3工区)	28,367	長崎市松ヶ枝町
H01	長崎市下水道部	田中町φ200φ150耗汚水管布設(6)	22,866	長崎市田中町
H02	長崎県長崎土木	(国)206号舗装補修	13,692	長崎市川口町
H02	長崎県長崎土木	(国)206号舗装補修	17,061	長崎市宝町
H02	長崎県長崎土木	(国)202号舗装補修	26,774	長崎市大黒町
H02	長崎県長崎土木	(主)長崎野母港線外1線道路舗装	49,304	長崎市八千代町
H02	長崎市土木部	(市)昭和町女の都町線外2線道路舗装	24,223	長崎市昭和町女の都
H02	日本舗道(株)	(国)206号舗装補修	10,454	長崎市道ノ尾町JR立体交叉前後
H02	長崎県長崎土木	(主)長崎野母港線道路補修	10,500	西彼三和町平山
H02	長崎市土木部	(市)曙町稲佐線道路舗装	20,240	長崎市稲佐町
H02	長崎市土木部	(市)銅座町新地町1号線道路舗装	17,666	長崎市新地、銅座町
H02	長崎県長崎土木	(主)長崎野母港線道路補修	10,041	長崎市出島町
H02	協星技建(株)	(主)長崎野母崎宿線道路改良	10,122	長崎市太田尾町
H02	長崎県長崎土木	(主)長崎野母崎宿線舗装新設	21,182	長崎市春日町
H02	崎戸町	三代道路(大正通)道路改良	45,452	西彼崎戸町
H02	長崎県長崎土木	(国)206号舗装新設(1)	54,636	西彼西彼町鳥加
H02	長崎県長崎土木	(国)206号舗装新設(2)	45,360	西彼西彼町鳥加
H02	(株)長崎土建工業所	二本松団地新築道路工事	49,679	長崎市二本松
H02	長崎市都市計画部	東長崎縦貫線外舗装	24,701	長崎市東町
H02	長崎県長崎耕地事務所	川頭ため池整備	14,400	西彼崎戸町江ノ島
H02	長崎県長崎土木	(主)長崎野母崎宿線特四	26,737	長崎市宮摺町
H02	長崎県大瀬戸土木	H02宮崎浦地区急傾斜地崩壊対策	32,447	西彼崎戸町平島
H02	崎戸町	浅間団地内線舗装	11,675	西彼崎戸町
H02	長崎県長崎土木	(国)206号舗装補修	45,620	長崎市住吉町
H02	長崎県長崎土木	(国)206号舗装補修	46,100	長崎市浦上町
H02	建設省長崎工事	長崎34号芒塚地区改良(4)	68,600	長崎市芒塚町

H02	長崎県長崎土木	大波止小ヶ倉線道路舗装	94,720	長崎市常盤町
H02	長崎電気軌道(株)	浜口電停改修及び新設	15,000	長崎市浜口町
H02	崎戸町 H02(町)	灯台南風泊線特改四種	14,409	西彼崎戸町平島
H02	長崎県長崎土木	(主)長崎野母港線道路改良	14,278	西彼野母崎町以下宿
H02	長崎県長崎土木	(国)206号舗装補修	27,646	西彼西彼町上岳
H02	長崎県臨海開発局	長崎港改修(毛井首地区道路)	12,400	長崎市毛井首町
H02	三和町 (町)	熊の岳線舗装新設	23,000	西彼三和町
H02	長崎電気軌道(株)	(主)長崎野母港線(軌道内)舗装補修	31,361	長崎市元船町
H02	長崎県長崎土木	(国)206号交通安全施設整備	22,712	西彼琴海町大子
H02	長崎県長崎土木	(主)長崎野母崎宿線舗装新設	11,049	西彼三和町木場
H02	長崎市下水道部	岡町φ200耗污水管布設	18,953	長崎市岡町
H02	崎戸町 H02(町)	灯台南風泊線道路改良	33,417	西彼崎戸町平島
H02	長崎電気軌道(株)	観光通交差点軌道敷改良	31,671	長崎市浜町
H02	(名)三星産業	サンセイビル新築	115,000	長崎市宝町
H02	長崎県大瀬戸土木	浦地区災害関連緊急地滑り対策	47,000	西彼崎戸町平島
H02	長崎県長崎土木	(主)長崎野母港線道路改良	77,355	長崎市江川町
H02	長崎県長崎土木	(主)長崎野母崎宿線道路改良	18,031	長崎市潮見町
H02	長崎県長崎土木	307号舗装	14,800	西彼時津町
H02	西部道路(株)	西九州自動車道舗装補修	11,235	佐世保市
H02	長崎市下水道部	中部4号幹線φ300耗污水管布設	18,200	長崎市本河内
H02	長崎県長崎土木	(県)207号舗装新設	13,764	西彼多良見町東園
H02	長崎県長崎土木	(主)東長崎長与線舗装新設	17,000	長崎市八峰
H03	崎戸町 H03(町)	灯台南風泊線道路改良	64,500	西彼崎戸町平島

工 事 経 歴

(建設省)

- S34 琴川橋架替 諫早市本野町琴川 5,300
- S37 長崎国道事務所庁舎基礎 長崎市中川町矢の平町 3,600
- S37 長崎国道蜚茶屋改築(追加) 長崎市蜚茶屋町 2,100
- S37 長崎国道蜚茶屋改築 長崎市蜚茶屋町 17,753
- S37 久原郷宿舍移築その他 不明 2,600
- S37 長崎国道事務所庁舎建築 長崎市矢の平町 11,820
- S37 15号宿舍新築その他 長崎市 2,420
- S37 長崎国道芒塚工区修繕 長崎市芒塚町 1,100
- S38 長崎国道長崎工区舗装補修 長崎市 28,100
- S38 長崎国道倉庫新築その他 長崎市 1,230
- S38 長崎国道長崎地区路面復旧 長崎市 1,740
- S39 島原工区舗装 島原市 18,630
- S39 15号宿舍新築 長崎市 1,270
- S39 長崎国道大村工区舗裝修繕 大村市 33,420
- S39 長崎事務所庁舎増築其他建築 長崎市矢の平町 6,513
- S39 長崎労働基準局庁舎特別修繕 長崎市 1,190
- S40 長崎事務所車庫棟新宮 長崎市矢の平町 4,300
- S40 長崎国道中里日見地区路面補修 長崎市中里町日見町 2,240
- S41 長崎国道宮小路工区改良 大村市竹松郷字竹松～宮小路 11,580
- S41 長崎海洋気象台敷地土留 長崎市南山手町 1,930
- S41 本河内地区道路復旧 長崎市本河内町 2,250
- S41 長崎国道日見地区防災施設 長崎市日見町 1,010
- S41 長崎国道日見地区滑り止め舗装 長崎市宿町～芒塚町 3,000
- S41 蜚茶屋地区バス停車帯設置 長崎市蜚茶屋町 1,145
- S42 長崎国道日見地区滑り止め舗装2 長崎市日見町 4,100
- S42 長崎国道宮小路地区舗裝修繕外1件 大村市竹松郷宮小路 12,820
- S43 国道切通し地区カント整正 長崎市芒塚町 2,763
- S44 長崎国道松原地区舗裝修繕 大村市一ノ郷～二ノ郷 16,540
- S44 長崎国道馬町勝山整地外1件 長崎市馬町勝山町 1,200
- S45 長崎国道竹松地区歩道設置 大村市竹松郷～原口郷 6,430
- S45 長崎国道勝山馬町線山道嵩上げ 長崎市勝山町～馬町 1,510
- S45 長崎国道平間名地区防災 長崎市平間名 1,115
- S45 長崎34号馬町勝山地区舗装 長崎市勝山、馬町 41,610
- S45 国道二本松地区舗裝修繕 大村市 10,647

- S46 長崎国道岩松地区舗裝修繕 大村市岩松郷～中里郷 19,810
- S47 長崎海洋気象台石垣補修 長崎市南山手町 6,570
- S47 長崎国道田中町地区舗裝修繕外1件 長崎市田中町 24,330
- S48 長崎国道本河内地区舗裝修繕 長崎市本河内 30,280
- S48 長崎国道本河内地区舗裝修繕 長崎市本河内町 1,837
- S49 長崎文教地区舗裝修繕 長崎市文教町 40,680
- S50 長崎文教地区舗裝修繕外1件 長崎市文教町 20,430
- S50 長崎彼杵大橋側道橋外1件 東彼杵郡彼杵町 24,730
- S50 長崎34号多良見地区法面保護(2) 西彼杵郡多良見町 26,950
- S51 長崎多良見地区路面補修 長崎市 5,490
- S51 長崎馬町地区歩道切削 長崎市馬町 1,920
- S51 長崎本河内地区災害復旧 長崎市本河内 2,135
- S52 長崎興善地区舗裝修繕 長崎市 38,800
- S52 長崎桜町地区舗裝修繕 長崎市桜町 13,200
- S52 長崎34号馬町交差点地下歩道函渠 長崎市馬町 25,320
- S52 長崎事務所庁舎補修(2) 長崎市 1,115
- S53 長崎34号馬町交差点地下歩道函渠 長崎市馬町 36,140
- S53 馬町交差点地下歩道(舗装) 長崎市馬町 6,230
- S53 長崎34号長崎地区防災 長崎市 48,605
- S53 長崎本河内地区防災 長崎市本河内町 1,800
- S54 長崎34号本河内防災 長崎市本河内町 25,400
- S54 長崎34号馬町交差点地下歩道函渠 長崎市馬町 102,560
- S54 小浜維持出張所倉庫新築その他 南高来郡小浜町 1,770
- S55 長崎34号破窰井地区改良(2) 諫早市下大渡野西栄田 21,900
- S55 長崎34号鎮西橋拡幅外1件 長崎市新大工町馬町 35,320
- S55 長崎34号西谷高架橋下部工(3) 諫早市下大渡野町 38,700
- S56 長崎34号下大渡野地区法覆 諫早市下大渡野町 50,500
- S56 長崎34号破窰井地区改良(2) 諫早市下大渡野町破窰井 46,000
- S56 宿町宿舍浄化槽改修 長崎市宿町 1,620
- S57 長崎34号破窰井地区舗装(1) 諫早市下大渡野地先 59,300
- S57 長崎本河内地区災害復旧(1) 長崎市本河内町 33,500
- S57 長崎芒塚地区災害復旧(2) 長崎市芒塚町 40,000
- S57 長崎本河内地区災害復旧(2) 長崎市本河内町 55,100
- S57 長崎芒塚地区災害復旧(1) 長崎市芒塚町 56,400
- S57 長崎芒塚地区災害復旧(3) 長崎市芒塚町 37,700
- S57 長崎本河内地区災害復旧(3) 長崎市本河内町 28,900
- S58 長崎34号馬町地下歩道内装工 長崎市馬町 12,000

S58	長崎34号中川地区改築	長崎市中川町	53,500
S58	長崎34号馬町地区歩道設置	長崎市馬町	6,300
S58	長崎平間地区防災外2件	長崎市平間-芒塚	19,300
S59	長崎34号蜚茶屋地区改良	長崎市中川町	44,100
S59	長崎34号馬町交差点改築	長崎市馬町	50,500
S59	長崎57号諫早地区舗装(2)	諫早市長野町	20,400
S60	長崎34号馬町地下歩道内装	長崎市馬町	9,000
S60	長崎34号馬町地区舗装	長崎市馬町	22,270
S60	長崎57号諫早地区改築	諫早市長野町	48,500
S60	長崎34号喜々津橋下部工	西彼杵郡多良見町	31,400
S60	長崎34号蜚茶屋函渠	長崎市中川町	59,200
S60	長崎57号諫早地区改築(2)外1件	諫早市長野町~小船越町	28,500
S60	長崎34号中川地区構造物(1)	長崎市中川町	58,500
S61	長崎34号中川地区構造物(3)	長崎市中川町	33,600
S61	長崎34号馬町地下歩道内装	長崎市馬町電停下	21,900
S62	長崎34号馬町交差点舗装他1件	長崎市馬町~新中川	50,800
S62	長崎34号中川地区改築	長崎市中川~新中川	71,710
S63	長崎34号新大工地区改築	長崎市新大工町~馬町	88,000
S63	大里郷地区防災(2)	大村市大里郷	44,700
H01	長崎34号本河内地区改築	長崎市本河内松島神社手前右拡幅	67,970
H02	長崎34号芒塚地区改良(4)工事	長崎市芒塚町	68,600
H03	長崎205号崎岡地区改良工事	佐世保市崎岡町	96,000
H03	長崎205号大手原地区地盤改良工事(1)	佐世保市崎岡町	59,300

近年の主な表彰

平成元年 8月 5日	国土建設週間	長崎県知事表彰	国道206号舗装補修工事
昭和58年 7月15日	建設省九州地方建設局長表彰	長崎34号芒塚地区災害復旧工事 (その1)	
昭和57年10月14日	建設業労働災害防止協会長事業場賞	時津八工区埋立地国道新 設工事	
昭和57年 9月 1日	日本道路公団福岡管理局長感謝状	長崎大水害長崎バイパス応 急復旧工事	
昭和57年 7月16日	建設省九州地方建設局長表彰	長崎34号下大渡野地区法覆工事	
昭和55年11月11日	建設省労働者雇用改善労働大臣表彰		
昭和55年 7月26日	国土建設週間	長崎県知事表彰	国道206号舗装補修工事

あ と が き

ものを作るということは楽しいものです。私たちの会社は建設業をてだてとして、ものを作り続けてきました。これが男の仕事だと自負してきました。この道は、この橋は俺が作ったんだと言えることに満足を感じてきました。昔の武将がいくさでの戦いぶりを誇張し、美化し、皆で自慢し合ったように、作り上げてきた仕事の苦労の様々を語り合うことが大きな楽しみでした。他愛ないと思われても一つ一つの話が私たちの財産に違いありません。しかし時代が流れ、先輩たちのそのような話も忘れられていきます。

初代星野安次郎、義徳、谷村正一、星野義次の各時代を通して伝えられる話から、先輩たちのメッセージが聞こえます。意地っばりな哲学が浮んできます。しなやかな姿勢が見えてきます。信用に応えようとする熱意が伝わってきます。安っぽい幸せを求める現代には思いもよらない困難のなかでの叫びと乗り越えた充足感。圧倒されそうな闘争心。ひとの肌の温かさが感じられるやりとり。それらを伝えるには私達は相応しくないと思いながらも、先輩たちのメッセージを伝えようと考えました。

ものを作るということは「きつい」ことです。世間ではきつい仕事は人気がないようです。汗水垂らす仕事が少なくなっています。しかし、きつい仕事は男にしかできないものです。

「危険」はなくすことができます。そうしなければこの仕事の未来はありません。「汚い」仕事でも、身体の中まで汚れるわけではありません。現場環境の改善は業界が掲げる主要なテーマです。

近い将来、きつい仕事が認められ、ふさわしい評価が与えられる時代が来ることを信じて、これからも努力を続けてまいりたいと思います。

さて社史の話に戻りますが、近年の話が少ないのは仕方ありません。いまはまだあわただしいのです。いい酒と同じで時間が経たなければ、こはく色と芳醇な香りはうまれないのです。私達は後輩にどのようなメッセージを残せるでしょうか。いずれまた、機会をみて編集を試みたいと思います。

1992年1月

『星野組の75年』編集委員会

委員長（常務取締役）谷村 隆三